IT 試験トレーニングアプリ

画面操作マニュアル

第 4 版

京都コンピュータ学院

改訂履歴

版数	作成/更新日	改訂内容
第 1 版	2023/2/15	新規作成
第 2 版	2023/12/22	CSV エクスポート機能の強化 模擬試験機能の追加 複数校対応 LTI 対応 過去 3 年分の追加（全 5 年分）
第 3 版	2024/12/25	模擬試験を繰り返し実施できる機能の追加 模擬試験結果の CSV 出力機能の追加 新しいトレーニング出題機能の追加 IT パスポート試験以外の試験の追加 ダッシュボード画面の追加 学習結果分析機能の追加 模擬試験に関するお知らせの追加 新しいトレーニング出題科目の追加 合格バッジの追加 教員ダッシュボードへのグラフ追加 LTI1.3 の対応
第 4 版	2026/01/31	ブックマーク機能の追加 新しいトレーニング出題機能の追加 問題に紐づくキーワードの管理 キーワードを利用した模擬試験作成 模擬試験出題画面の改善 模擬試験結果分析機能追加 利用状況分析機能の追加 学習結果分析機能の改善 初期設定機能の追加

目次

1. はじめに 1
2. 使用方法(共通) 2
2.1. ログイン画面 2
3. 使用方法(管理者) 3
3.1. 生徒管理画面 3
生徒追加ダイアログ 6
生徒パスワード変更画面 7
生徒削除前確認ダイアログ 8
3.2. 生徒一括登録画面 10
生徒一括登録 CSV 作成方法 12
3.3. 教員管理画面 14
教員追加ダイアログ 17
教員パスワード変更画面 18
教員削除前確認ダイアログ 19
3.4. 管理者管理画面 20
管理者追加ダイアログ 23
管理者パスワード変更画面 24
管理者削除前確認ダイアログ 25
3.5. 試験利用管理画面 26
3.6. クラス管理画面 27
クラス追加ダイアログ 30
クラス削除前確認ダイアログ 31
クラス詳細画面 32
未登録者管理画面 37
3.7. クラス一括登録画面 42
クラス一括登録 CSV 作成方法 44
3.8. LTI 管理画面 47
コンシューマー管理画面 48
プラットフォーム管理画面 51
プライベートキー管理画面 57
3.9. パスワード変更画面 58

3.10. 画面操作マニュアル....59
4. 使用方法(教員)....60
4.1. ダッシュボード画面....60
4.2. 成績情報全体画面....71
4.3. 成績情報個別画面....73
4.4. 成績情報詳細画面....73
4.5. 模擬試験結果分析画面....74
模擬試験結果詳細画面....76
4.6. 学習結果分析画面....77
学習結果詳細画面....80
4.7. 利用状況分析画面....81
利用状況詳細画面....83
4.8. 問題とキーワード紐づけ画面....85
キーワードの表示設定....86
新しいキーワードの追加、紐づけの追加....87
4.9. 試験種別キーワード表示画面....89
4.10. 模擬試験管理画面....91
4.11. 模擬試験新規作成画面....94
模擬試験の名称等の設定....95
キーワードの表示....100
模擬試験コピー機能....101
4.12. 問題セット作成画面....103
問題セットから追加....106
キーワードから追加....109
過去問から追加....113
4.13. 模擬試験編集画面....117
4.14. 模擬試験問題詳細画面....118
4.15. CSV エクスポート画面....119
4.16. 合格申請受理画面....121
4.17. 画面操作マニュアル....122
5. 使用方法(生徒)....123
5.1. 試験コース選択画面....123

5.2. ダッシュボード画面 124
模擬試験に関するお知らせ 124
グラフ表示エリア 125
トレーニング平均正答率グラフ 125
トレーニング実施率グラフ 127
時系列順トレーニング正答率グラフ 128
模擬試験全体結果グラフ 134
5.3. 成績情報個別画面 138
5.4. 成績情報詳細画面 142
ブックマーク機能 144
成績情報詳細画面(CBT 方式) 145
5.5. 問題出題(全分野)開始画面 146
問題出題(全分野)画面 147
5.6. 問題出題(ストラテジ系)開始画面 148
問題出題(ストラテジ系)画面 148
5.7. 問題出題(マネジメント系)開始画面 149
問題出題(マネジメント系)画面 149
5.8. 問題出題(テクノロジ系)開始画面 150
問題出題(テクノロジ系)画面 150
5.9. 問題出題(不得意問題集中モード)開始画面 151
問題出題(不得意問題集中モード)画面 151
5.10. 問題出題(ブックマークモード)開始画面 152
問題出題(ブックマークモード)画面 152
5.11. 問題出題(無制限集中トレーニングモード)開始画面 153
問題出題(無制限集中トレーニングモード)画面 154
5.12. 問題出題(CBT 方式)開始画面 156
問題出題(CBT 方式)画面 157
5.13. 模擬試験開始画面 159
模擬試験問題出題画面 160
5.14. 模擬試験(CBT 方式)開始画面 162
模擬試験(CBT 方式)問題出題画面 163
5.15. CSV エクスポート画面 165

5.16. 合格申請画面 166
合格申請ダイアログ 168
合格申請取り消しダイアログ 169
5.17. ブックマーク画面 170
ブックマーク問題表示ダイアログ 171
6. 使用方法(ゲスト) 172
6.1. 初期設定ログイン画面 172
6.2. 初期設定画面(学校情報) 173
6.3. 初期設定画面(LTI 情報) 175
7. 使用上の注意 177
7.1. 複数タブ表示 177

1. はじめに

本文書では、「IT 試験トレーニングアプリ(以降、本アプリ)」の画面操作について説明する。

本アプリは、生徒/教員/管理者/ゲストの 4 つのユーザーロールがあり、使用方法もユーザーロールによって異なる為、それぞれの使用方法の一連の手順について説明する。

具体的には、以下の内容を含む。

- 使用方法(管理者)
- 使用方法(教員)
- 使用方法(生徒)
- 使用方法(ゲスト)

本画面操作マニュアルでは、操作するにあたって必要な情報を記述したものであり、本アプリの詳細はソフトウェア仕様書を参考するものとする。

2. 使用方法(共通)

2.1. ログイン画面

本アプリを使用するには、ログイン画面からユーザーID、パスワードを入力し、ログインボタンを押下することで、各画面へのアクセスが可能となる。
また、生徒/教員/管理者ともに、ログイン画面は共通である。



ログイン後にアクセスする画面は、ユーザーロールによって、それぞれ以下の通りに異なる。

管理者:生徒管理画面
教員:成績情報全体画面
生徒:成績情報個別画面

3. 使用方法(管理者)

3.1. 生徒管理画面

生徒管理画面は、サイドメニューの「生徒管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、入学年度、ユーザーID から学校に登録されている生徒の検索を行い、検索条件に該当する生徒を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 生徒追加ダイアログ
- 生徒パスワード変更画面
- 生徒削除前確認ダイアログ

生徒の検索については、以下の「入学年度」か「ユーザーID」、またはその両方を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。

また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。



検索を実行した場合、生徒一覧に、検索条件に該当した生徒が表示される。
生徒一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。





ページボタンを押下すると、選択したページの生徒一覧が表示される。



「全て選択」を押下することで、生徒一覧の生徒を一括してチェック/チェック解除することができる。



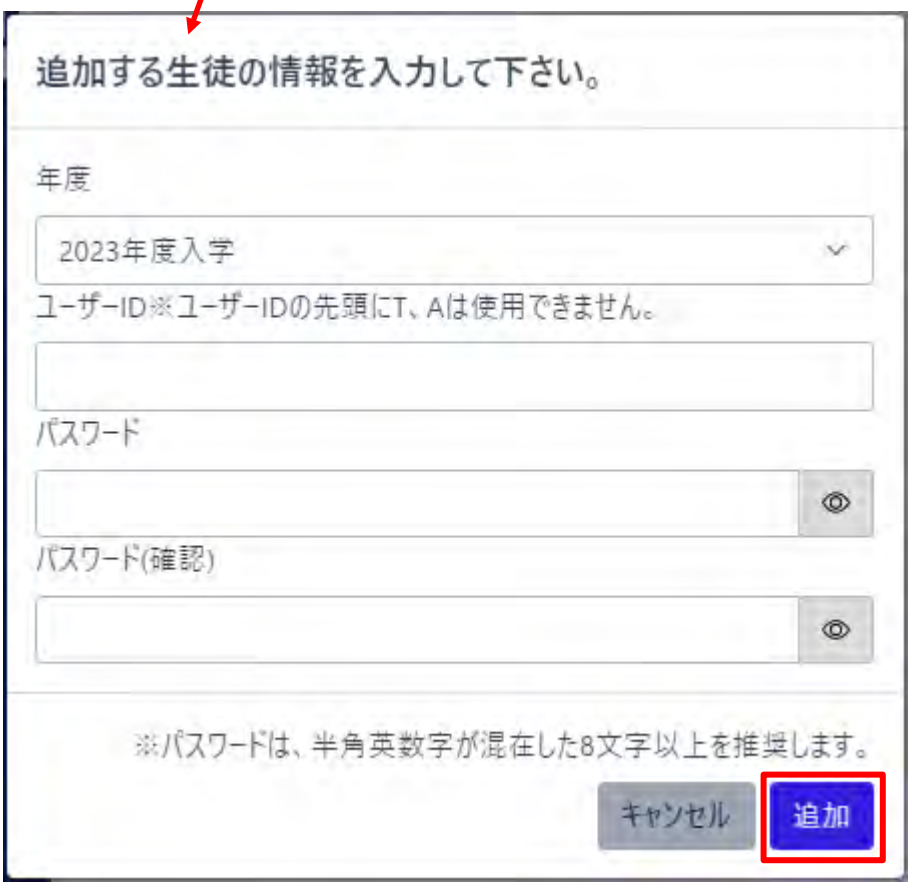
（中略）



生徒追加ダイアログ

生徒追加ダイアログは、生徒管理画面の追加ボタンを押下することで、アクセスできる。





ダイアログから追加する生徒の、入学年度、ユーザーID、パスワードを入力し、追加ボタンを押下することで生徒を追加できる。

生徒パスワード変更画面

生徒パスワード変更画面は、生徒一覧の、変更ボタンを押下することでアクセスできる。



変更する生徒の入学年度、新しいパスワードを入力して、変更ボタンを押下することで生徒の入学年度、パスワードを変更できる。

生徒削除前確認ダイアログ

生徒削除前確認ダイアログは、生徒一覧の、削除したい生徒にチェックを付け、削除ボタンを押下することでアクセスできる。



削除ボタンを押下することで、選択した生徒を削除することができる。

また、「全て選択」をチェックすることで、一覧の生徒を一括してチェック/チェック解除できる。



（中略）



3.2.　生徒一括登録画面

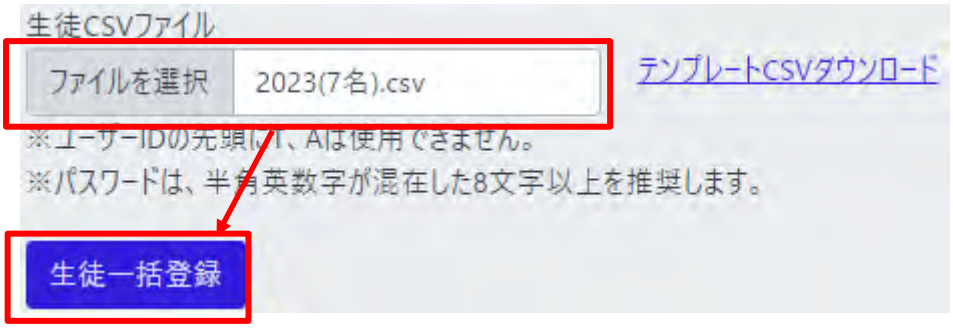
生徒一括登録画面は、サイドメニューの「生徒一括登録」を押下することでアクセスできる。



「ファイルを選択」を押下すると、ファイル選択ダイアログが表示され、生徒一括登録用の CSV ファイルを選択できる。

選択した状態で、「生徒一括登録」ボタンを押下すると、生徒を一括登録できる。

※詳細は生徒一括登録 CSV 作成方法にて説明する。



また、「テンプレート CSV ダウンロード」のリンクを押下することで、生徒一括登録用の CSV ファイルをダウンロードできる。



生徒一括登録 CSV 作成方法

生徒一括登録 CSV のフォーマットは、表 1 の通りである。

表 1 生徒一括登録 CSV フォーマット

入学年度	ユーザーID	パスワード

テンプレート CSV をもとに、生徒一括登録 CSV の作成方法について説明する。

図 1 テンプレート CSV

	A	B	C
1	入学年度	ユーザーID	パスワード
2	2023	S23001	aA0aaaaaa※この行はサンプルの為、必ず削除して下さい。
3			

※2 行目は、サンプルデータの為、必ず削除すること。

1 行目はヘッダとして無視する為、生徒の情報は、2 行目から入力を行う。

入力する情報は、以下の通りである。

A列) 入学年度

B列) ユーザーID

C列) パスワード

それぞれの項目を説明する。

A 列）入学年度は、生徒の入学年度を入力する。
この項目は、生徒管理画面、成績情報全体画面で生徒の検索に使用される。
制約事項:

- 2020 年度～現在の年度までであること。
- 1 入学年度当たりの生徒の登録人数が 999 人以下であること。

B 列）ユーザーID は生徒のユーザーID を入力する。
制約事項:

- 1 文字～10 文字であること。
- 「半角英小文字、半角英大文字、半角数字」以外の文字が使用されていないこと。
- T、A を 1 文字目に使用することはできない。
  ※教員、管理者を示すプレフィックスである為。
- 学校内で同じユーザーID の生徒を登録することはできない。

C 列）パスワードは生徒のパスワードを入力する。
制約事項:

- 「半角英小文字、半角英大文字、半角数字」以外の文字が使用されていないこと。
- 最低 8 文字以上であること。

これらの条件を満たしていない CSV を選択した場合、生徒一括登録は失敗し、CSV 内の全生徒の登録を行わない。

以下の図 2 は、上記の条件を満たした生徒一括登録 CSV の作成例である。

図　2　生徒一括登録 CSV 作成例



3.3. 教員管理画面

教員管理画面は、サイドメニューの「教員管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、ユーザーID から学校に登録されている教員の検索を行い、検索条件に該当する教員を一覧にして表示する。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 教員追加ダイアログ
- 教員パスワード変更画面
- 教員削除前確認ダイアログ

教員の検索については、「ユーザーID」を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。
また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。



検索を実行した場合、教員一覧に、検索条件に該当した教員が表示される。
教員一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。



ページボタンを押下すると、選択したページの教員一覧が表示される。



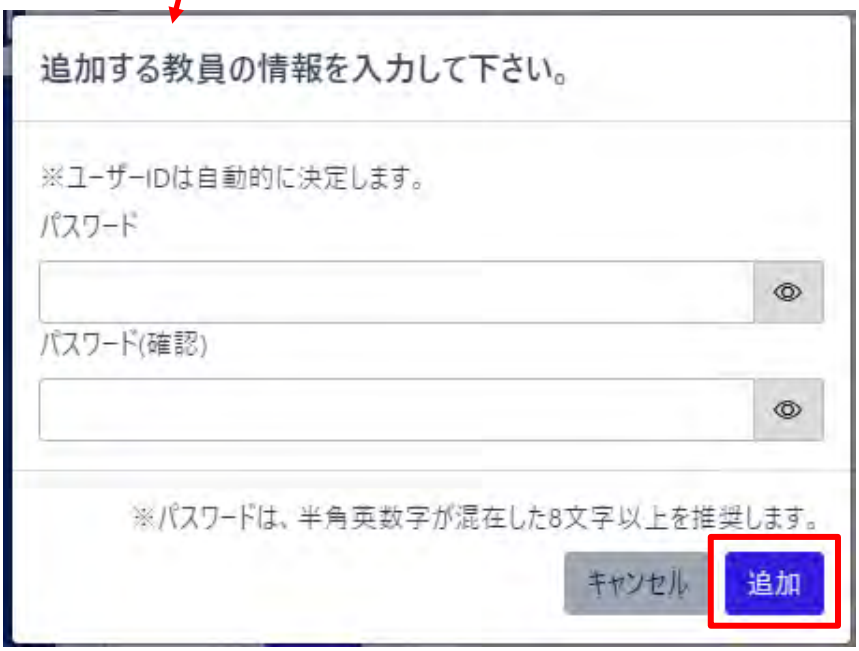
「全て選択」をチェックすると、教員一覧の教員を一括してチェック/チェック解除することができる。



教員追加ダイアログ

教員追加ダイアログは、教員管理画面の追加ボタンを押下することで、アクセスできる。





ダイアログから追加する教員の、パスワードを入力し、追加ボタンを押下することで教員を追加できる。

教員パスワード変更画面

教員パスワード変更画面は、教員一覧の、変更ボタンを押下することでアクセスできる。



変更する教員の新しいパスワードを入力して、変更ボタンを押下することで教員のパスワードを変更できる。

教員削除前確認ダイアログ

教員削除前確認ダイアログは、教員一覧の、削除したい教員にチェックを付け、削除ボタンを押下することでアクセスできる。





削除ボタンを押下することで、選択した教員を削除することができる。

3.4.　管理者管理画面

管理者管理画面は、サイドメニューの「管理者管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、ユーザーID から学校に登録されている管理者の検索を行い、検索条件に該当する管理者を一覧にして表示する。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 管理者追加ダイアログ
- 管理者パスワード変更画面
- 管理者削除前確認ダイアログ

管理者の検索については、「ユーザーID」を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。
また、「クリアボタン」を押下することで、入力した検索条件を初期化することができる。



検索を実行した場合、管理者一覧に、検索条件に該当した管理者が表示される。
管理者一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。





ページボタンを押下すると、選択したページの管理者一覧が表示される。



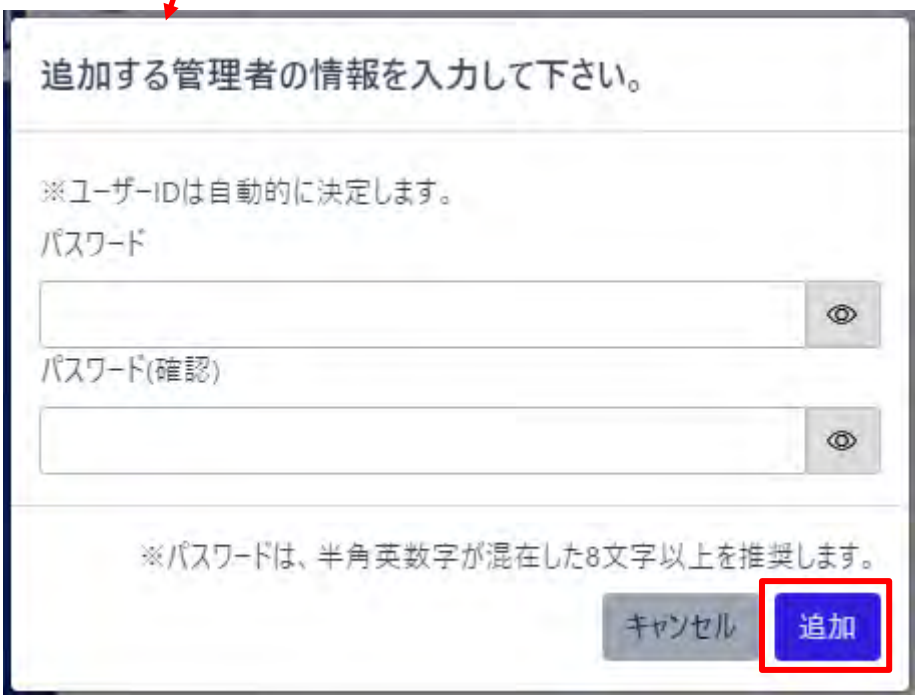
「全て選択」をチェックすると、管理者一覧の管理者を一括してチェック/チェック解除することができる。



管理者追加ダイアログ

管理者追加ダイアログは、管理者管理画面の追加ボタンを押下することで、アクセスできる。

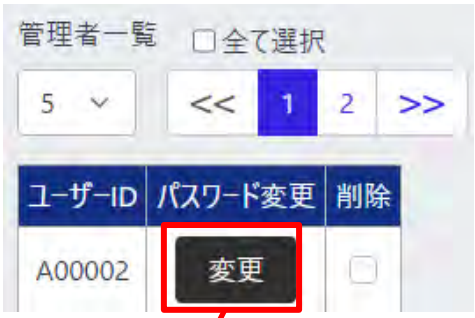




ダイアログから追加する管理者の、パスワードを入力し、追加ボタンを押下することで管理者を追加できる。

管理者パスワード変更画面

管理者パスワード変更画面は、管理者一覧の、変更ボタンを押下することでアクセスできる。



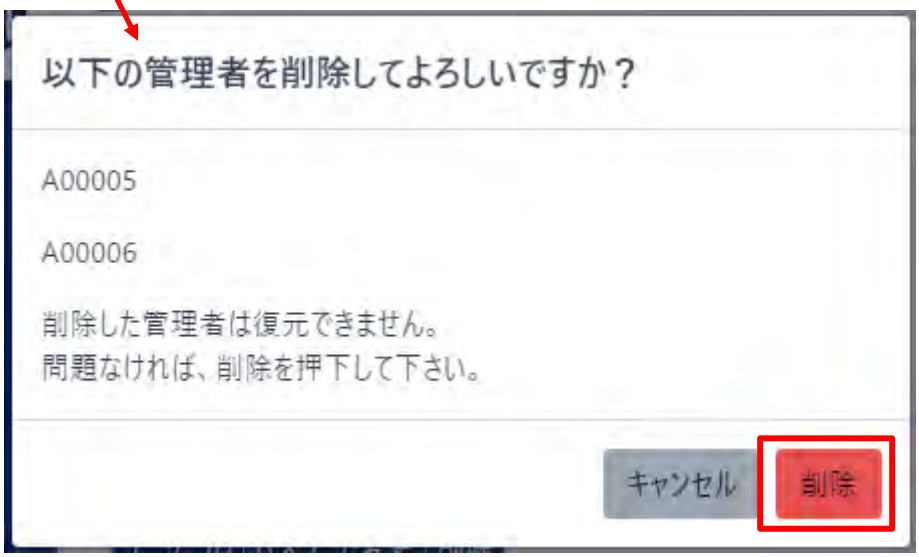


変更する管理者の新しいパスワードを入力して、変更ボタンを押下することで管理者のパスワードを変更できる。

管理者削除前確認ダイアログ

管理者削除前確認ダイアログは、一覧の、削除したい管理者にチェックを付け、削除ボタンを押下することでアクセスできる。





削除ボタンを押下することで、選択した管理者を削除することができる。

3.5.　試験利用管理画面

試験利用管理画面は、サイドメニューの「試験利用管理」を押下することでアクセスできる。



各試験の利用状況ドロップダウンの内容を変更して、更新ボタンを押下することで利用状況を更新できる。

「利用しない」を設定している場合、試験コースの選択ができない状態となる。

3.6. クラス管理画面

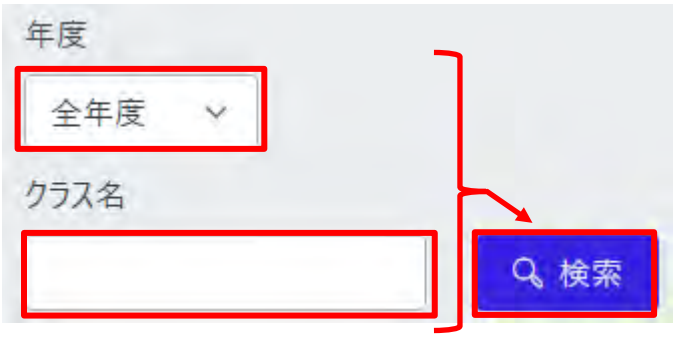
クラス画面は、サイドメニューの「クラス管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、年度、クラス名からクラスの検索を行い、検索条件に該当したクラスを一覧にして表示することができる。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- クラス追加ダイアログ
- クラス削除前確認ダイアログ
- クラス詳細画面
- 未登録者管理画面

クラスの検索については、以下の「年度」か「クラス名」、またはその両方を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、クラス一覧に、検索条件に該当したクラスが表示される。

1 つのクラスごとに、教員/生徒ボタンが表示され、押下することで、そのクラスに所属する教員/生徒を検索する詳細画面へ遷移する。



クラス一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページのクラス一覧が表示される。



クラス追加ダイアログ

クラス追加ダイアログは、クラス管理画面の追加ボタンを押下することで、アクセスできる。



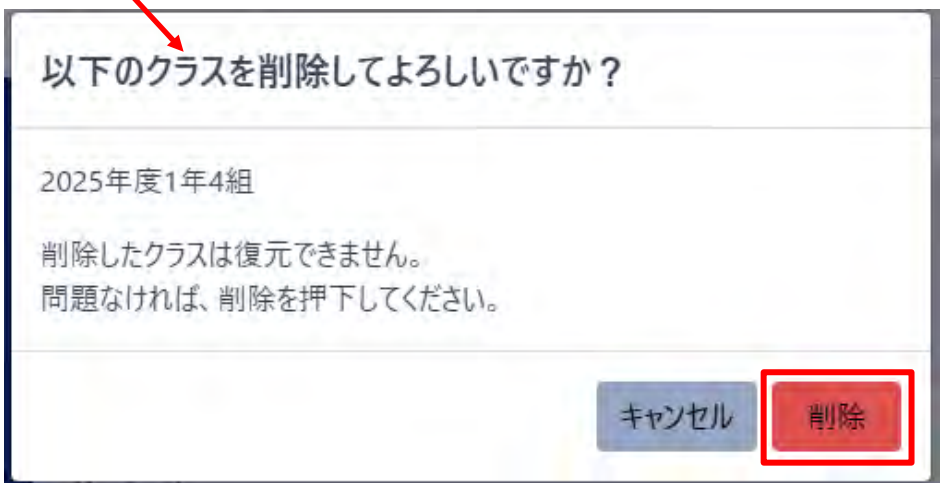


ダイアログから追加するクラスの、年度、学年、クラス名を入力し、追加ボタンを押下することでクラスを追加できる。

クラス削除前確認ダイアログ

クラス削除前確認ダイアログは、クラス一覧の、削除したいクラスを 1 つ選択し、削除ボタンを押下することでアクセスできる。





削除ボタンを押下することで、選択したクラスを削除することができる。

クラス詳細画面

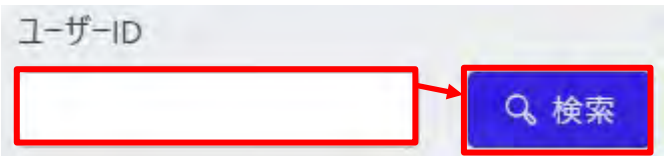
クラス詳細画面は、クラス一覧の、教員/生徒ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、ユーザーID からクラスに登録されている教員/生徒の検索を行い、検索条件に該当する教員/生徒を一覧にして表示する。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 教員/生徒追加ダイアログ
- 教員/生徒削除前確認ダイアログ

教員/生徒の検索については、「ユーザーID」を入力し、「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、教員/生徒一覧に、検索条件に該当した教員/生徒が表示される。
教員/生徒一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。





ページボタンを押下すると、選択したページの教員/生徒の一覧が表示される。



教員/生徒追加ダイアログ

教員/生徒追加ダイアログは、クラス詳細画面の追加ボタンを押下することで、アクセスできる。



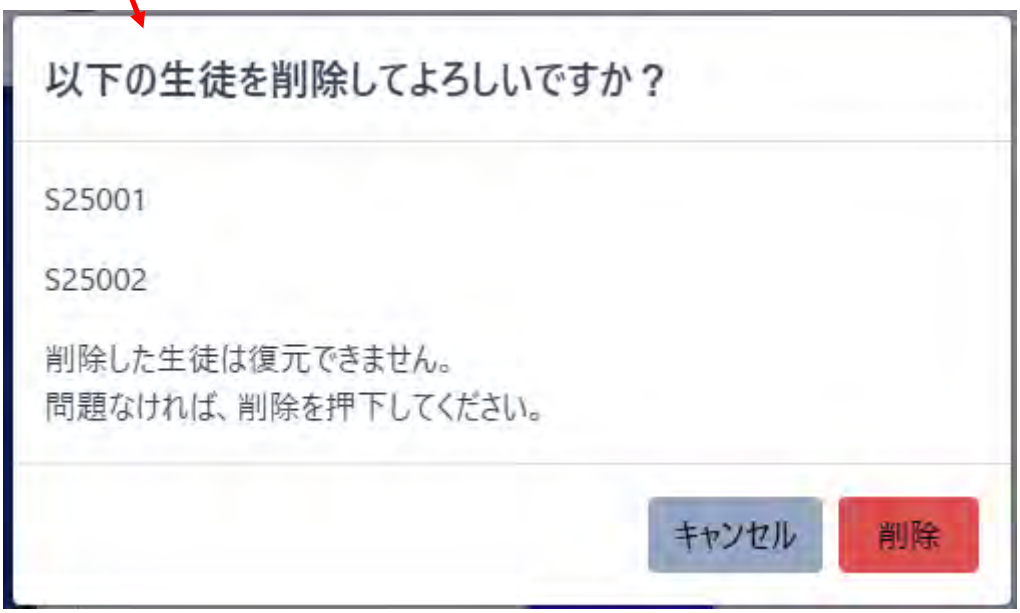


ダイアログから追加する教員/生徒の、ユーザーID を入力し、追加ボタンを押下することで教員/生徒を追加できる。

教員/生徒削除前確認ダイアログ

教員/生徒削除前確認ダイアログは、一覧の、削除したい教員/生徒にチェックを付け、削除ボタンを押下することでアクセスできる。



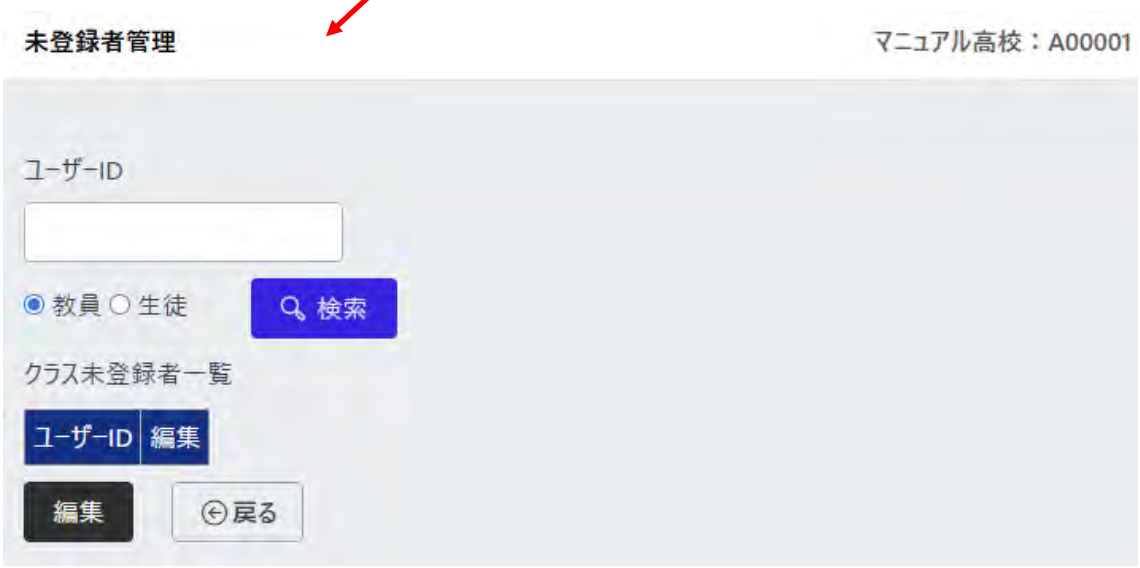


削除ボタンを押下することで、選択した教員/生徒を削除することができる。

未登録者管理画面

未登録者管理画面は、クラス管理画面の、未登録ボタンを押下することでアクセスできる。





当画面は、ユーザーID、ユーザー区分ラジオボタンからクラスに登録されていない教員/生徒の検索を行い、検索条件に該当する教員/生徒を一覧にして表示する。

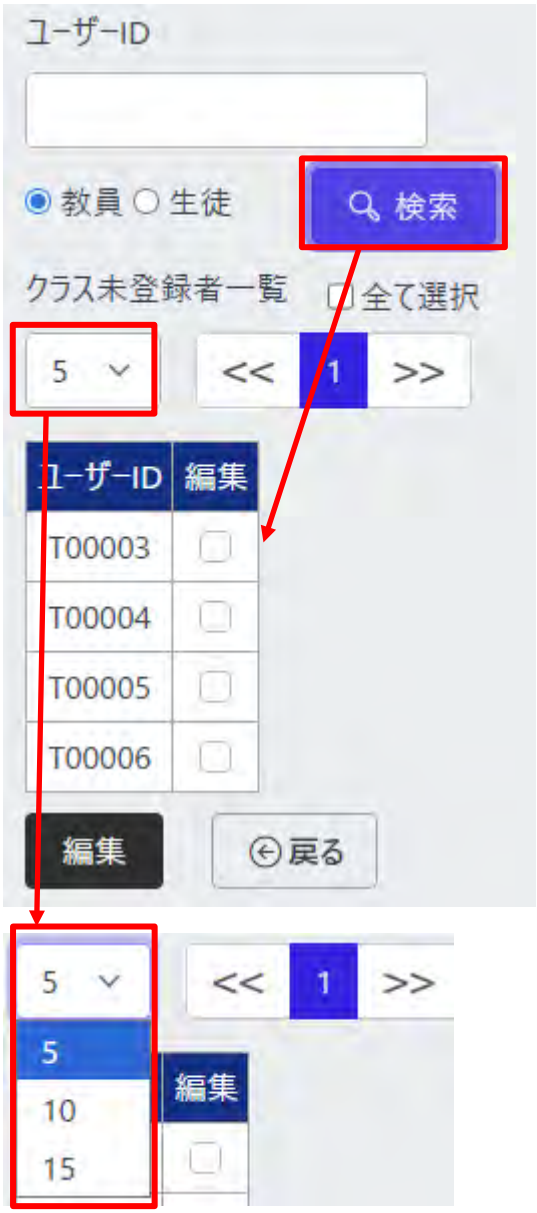
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 未登録者編集ダイアログ

未登録者の検索については、「ユーザーID」を入力、または「ユーザー区分」ラジオボタンを選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



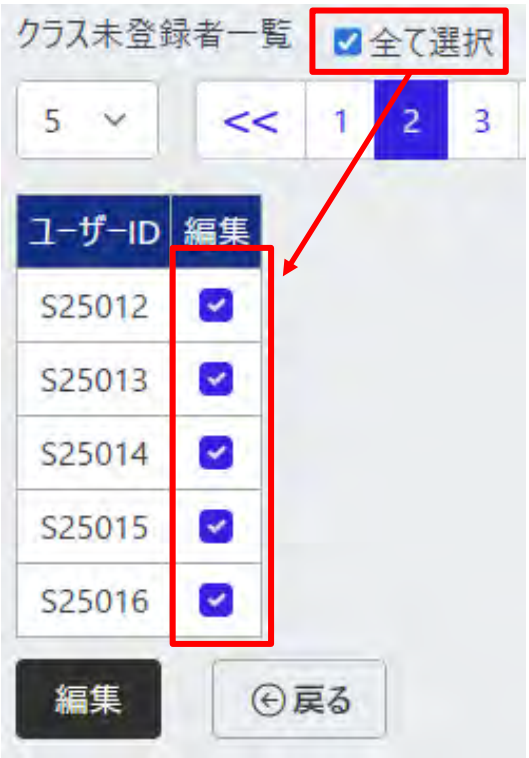
検索を実行した場合、クラス未登録者一覧に、検索条件に該当した未登録者が表示される。
クラス未登録者一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。



ページボタンを押下すると、選択したページのクラス未登録者一覧が表示される。



「全て選択」をチェックすると、クラス未登録者一覧の未登録者を一括してチェック/チェック解除することができる。



未登録者編集ダイアログ

未登録者編集ダイアログは、未登録者管理画面の編集ボタンを押下することで、アクセスできる。





ダイアログから未登録を追加するクラスの、年度、学年、クラス名を入力し、追加ボタンを押下することで未登録者をクラスに追加できる。

3.7.　クラス一括登録画面

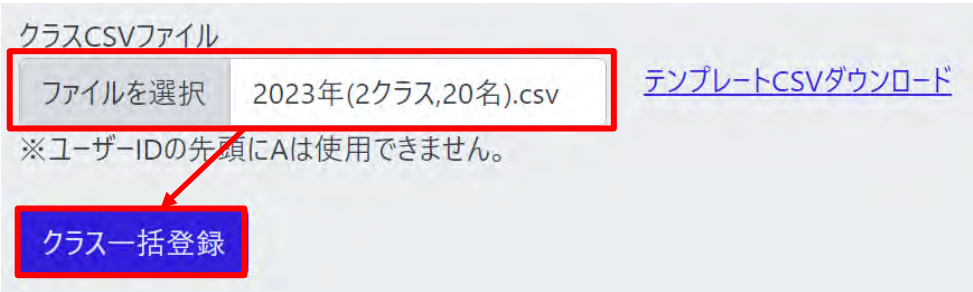
クラス一括登録画面は、サイドメニューの「クラス一括登録」を押下することでアクセスできる。



「ファイルを選択」を押下すると、ファイル選択ダイアログが表示され、クラス一括登録用の CSV ファイルを選択できる。

選択した状態で、「クラス一括登録」ボタンを押下すると、クラスを一括登録できる。

※詳細はクラス一括登録 CSV 作成方法にて説明する。



また、「テンプレート CSV ダウンロード」のリンクを押下することで、クラス一括登録用の CSV ファイルをダウンロードできる。



クラス一括登録 CSV 作成方法

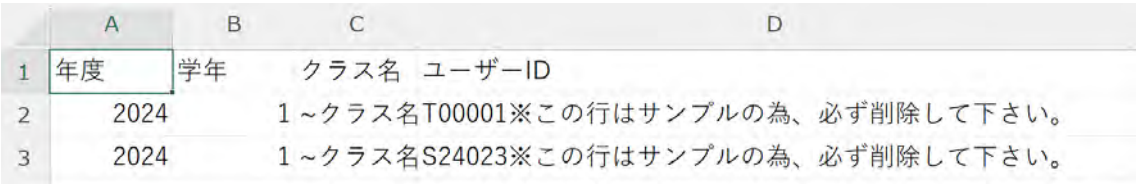
クラス一括登録 CSV のフォーマットは、表 2 の通りである。

表 2 クラス一括登録 CSV フォーマット

年度	学年	クラス名	ユーザーID

テンプレート CSV をもとに、クラス一括登録 CSV の作成方法について説明する。

図 3 テンプレート CSV



	A	B	C	D
1	年度	学年	クラス名	ユーザーID
2	2024	1	～クラス名T00001※この行はサンプルの為、必ず削除して下さい。	
3	2024	1	～クラス名S24023※この行はサンプルの為、必ず削除して下さい。	

※2～3 行目は、サンプルデータの為、必ず削除すること。

1 行目はヘッダとして無視する為、クラスの情報は、2 行目から入力を行う。

入力する情報は、以下の通りである。

A列) 年度

B列) 学年

C列) クラス名

D列) ユーザーID

それぞれの項目を説明する。

A 列）年度は、クラスの利用年度を入力する。
この項目は、クラス管理画面、教員のダッシュボード画面でクラスの検索に使用される。
制約事項:

- 2020 年度～現在の年度までであること。
- 1 年度当たりのクラスの登録数が 999 人以下であること。

B 列）学年はクラスが該当する学年を入力する。
制約事項:

- 「半角数字」以外の文字が使用されていないこと。

C 列）クラス名はクラスの名前を入力する。
制約事項:

- 1 文字～50 文字であること。

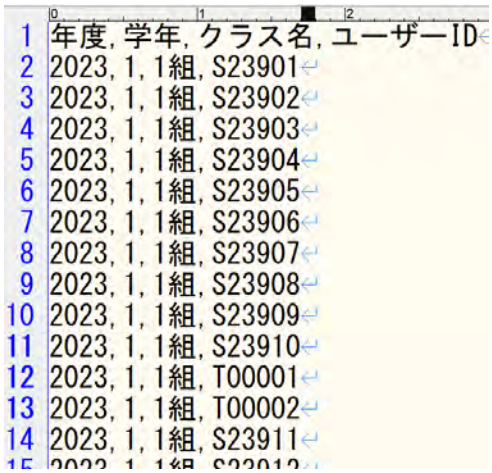
D 列）ユーザーID は教員、または生徒のユーザーID を入力する。
制約事項:

- 1 文字～10 文字であること。
- 「半角英小文字、半角英大文字、半角数字」以外の文字が使用されていないこと。
- A を 1 文字目に使用することはできない。
  ※管理者を示すプレフィックスである為。
- クラス内で同じユーザーID の教員、生徒を登録することはできない。
- 1 年度内で生徒は 1 クラスにしか登録できない。
- 1 クラス当たりの生徒、または教員の登録人数が 999 人以下であること。

これらの条件を満たしていない CSV を選択した場合、クラス一括登録は失敗し、CSV 内の全クラスの登録を行わない。

以下の図 4 は、上記の条件を満たしたクラス一括登録 CSV の作成例である。

図 4 クラス一括登録 CSV 作成例



3.8. LTI 管理画面

LTI 管理画面は、サイドメニューの「LTI 管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、LTI 遷移リクエストを利用する際に必要となる情報を登録する各メンテナンス画面への遷移ボタンを表示している。
当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- コンシューマー管理画面
- プラットフォーム管理画面
- プライベートキー管理画面

コンシューマー管理画面は LTI1.1 準拠の LMS と連携する場合に設定し、プラットフォーム管理画面とプライベートキー管理画面は LTI1.3 準拠の LMS と連携する場合に設定する。

コンシューマー管理画面

コンシューマー管理画面は、LTI 管理画面の「コンシューマー管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、登録されているコンシューマー情報を一覧にして表示することができる。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- コンシューマー情報編集画面
- コンシューマー情報登録画面

コンシューマー管理画面に遷移した際、コンシューマー情報一覧に、登録されているコンシューマー情報が表示される。

1 つのコンシューマー情報ごとに、編集ボタンが表示され、押下することで、そのコンシューマー情報を編集する画面へ遷移する。



コンシューマー情報編集画面

コンシューマー情報編集画面は、コンシューマー情報一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、登録されているコンシューマー情報の編集を行い、登録ボタンを押下することで、コンシューマー情報を更新する。

コンシューマー情報登録画面

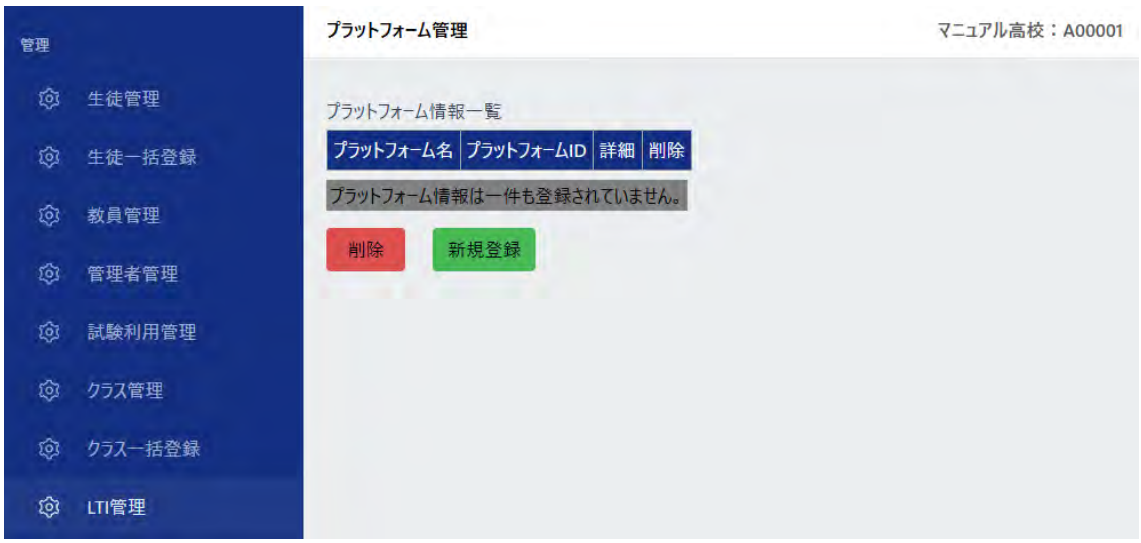
コンシューマー情報登録画面は、コンシューマー管理画面の、新規登録ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、コンシューマー情報の各入力エリアに追加するコンシューマー情報を入力し、登録ボタンを押下することで、コンシューマー情報を登録する。

プラットフォーム管理画面

プラットフォーム管理画面は、LTI 管理画面の「プラットフォーム管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、登録されているプラットフォーム（例：Moodle）の情報を一覧にして表示することができる。
また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- プラットフォーム削除前確認ダイアログ
- プラットフォーム情報編集画面
- プラットフォーム情報登録画面

プラットフォーム管理画面に遷移した際、プラットフォーム情報一覧に、登録されているプラットフォーム情報が表示される。

1 つのプラットフォーム情報ごとに、詳細ボタンが表示され、押下することで、そのプラットフォーム情報を編集する画面へ遷移する。



なお、プラットフォーム側で設定に必要な URL は三点ある。

- **Tool JWKS URL（公開鍵セット）**
  [サイト URL]/learning/lti1p3/jwks/[学校 ID]
- **Login Initiation URL（ログイン開始）**
  [サイト URL]/learning/lti1p3/login/[学校 ID]
- **Tool Redirect URL(s)（リダイレクト URI ）**
  [サイト URL]/learning/lti1p3/callback/[学校 ID]

以下は Moodle の場合のツールの設定画面である。



プラットフォーム削除前確認ダイアログ

プラットフォーム削除前確認ダイアログは、プラットフォーム情報一覧の、削除したいプラットフォーム情報を 1 つ以上選択し、削除ボタンを押下することでアクセスできる。





削除ボタンを押下することで、選択したプラットフォーム情報を削除することができる。

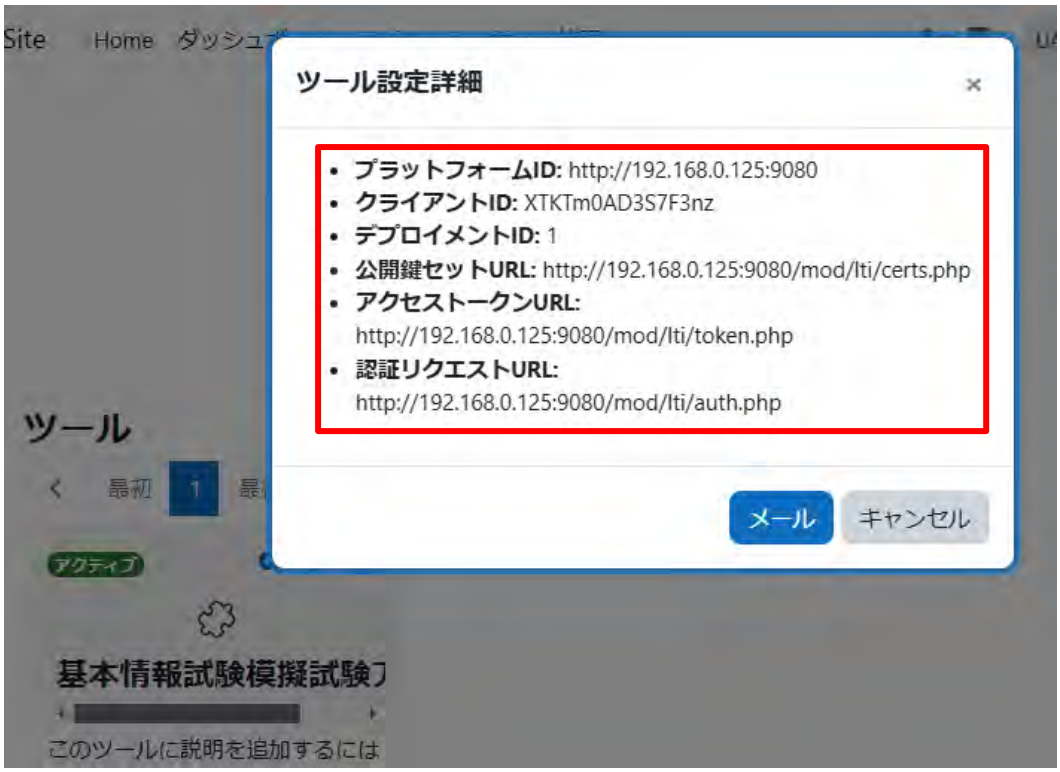
プラットフォーム情報編集画面

プラットフォーム情報編集画面は、プラットフォーム情報一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、登録されているプラットフォーム情報の編集を行い、更新ボタンを押下することで、プラットフォーム情報を更新する。

下記は Moodle でツール登録時に表示される設定詳細の画面で、プラットフォーム情報編集時の具体的な内容はこのようにプラットフォーム側から提示される情報を転記する。



プラットフォーム情報登録画面

プラットフォーム情報登録画面は、プラットフォーム管理画面の、新規登録ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、プラットフォーム情報の各入力エリアに追加するプラットフォームの情報を入力し、追加ボタンを押下することで、プラットフォーム情報を登録する。

プライベートキー管理画面

プライベートキー管理画面は、LTI 管理画面の「プライベートキー管理」を押下することでアクセスできる。



当画面は、学校 ID に紐づいているプライベートキー情報を表示することができる。

プライベートキー管理画面に遷移した際、各入力エリアに、登録されているプライベートキー情報が表示される。
未登録の場合は、その旨のメッセージが表示され、削除が行えない。



当画面は、プライベートキー情報の各入力エリアに追加・編集を行う情報を入力し、登録/更新ボタンを押下することで、プライベートキー情報を登録/更新する。
削除ボタンを押下することで、登録されているプライベートキー情報を削除できる。

3.9.　パスワード変更画面

パスワード変更画面は、サイドメニューの「パスワード変更」を押下することでアクセスできる。



新しいパスワードを入力して、変更ボタンを押下することで自身のパスワードを変更できる。

3.10. 画面操作マニュアル

画面操作マニュアルは、サイドメニューの「マニュアル」を押下することでアクセスできる。



押下すると、新しいタブで、画面操作マニュアル(当マニュアル)を表示する。



4. 使用方法(教員)

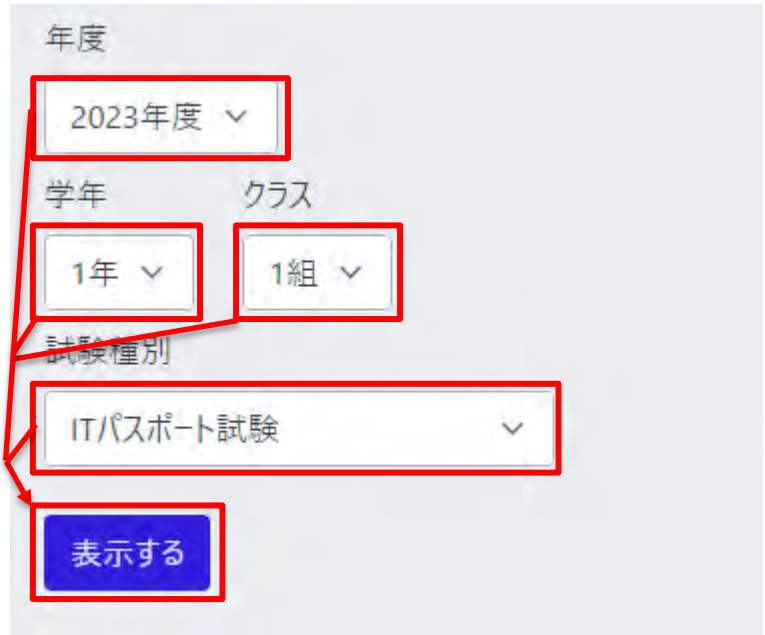
4.1. ダッシュボード画面

ダッシュボード画面は、サイドメニューの「ダッシュボード」を押下することでアクセスできる。

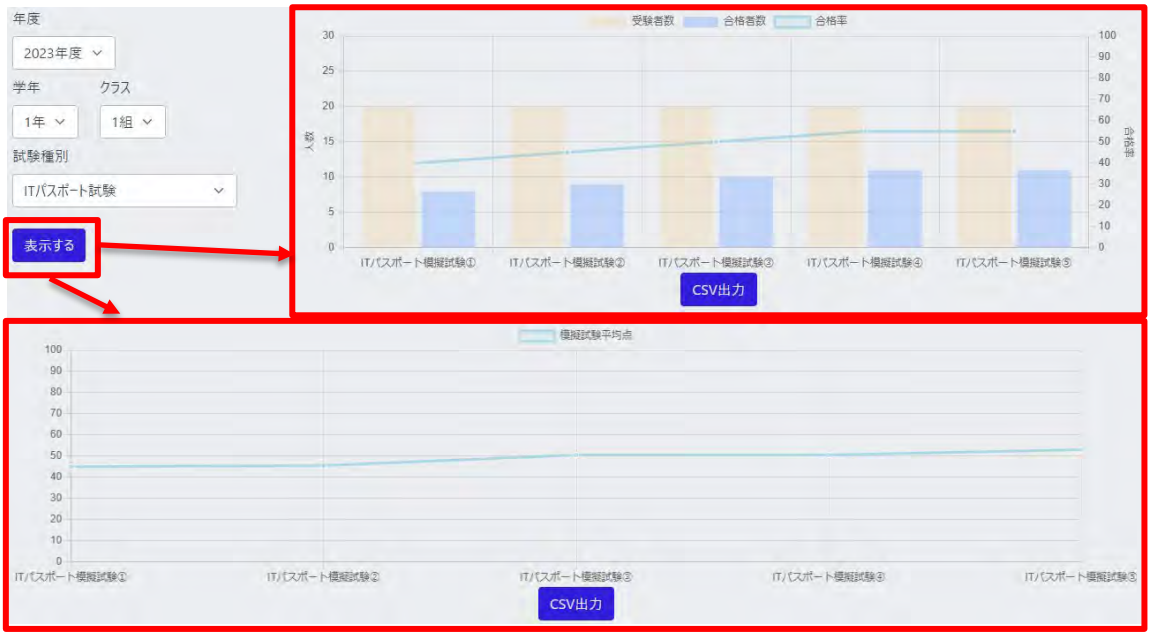


当画面では年度、学年、クラス、試験種別で検索を行い、該当する学年やクラスに所属する生徒の成績を取得し、様々なグラフを表示することができる。
また、各グラフに使用しているデータの CSV ファイルを出力することもできる。

グラフを表示するには、以下の「年度」、「学年」、「クラス」、「試験種別」のドロップダウンを選択し、「表示する」ボタンを押下することで、画面に表示される。



「表示する」ボタンを押下すると、試験種別に応じた模擬試験の本番モードに関する合格率グラフと平均点グラフが表示される。



模擬試験(本番モード)の合格率グラフにて出力される CSV のフォーマットは、表 3 の通りである。

表 3 模擬試験(本番モード)の合格率グラフ CSV フォーマット

模擬試験	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)

図 5 をもとに、模擬試験(本番モード)合格率 CSV の作成方法について説明する。

図 5 模擬試験(本番モード)合格率 CSV

	A	B	C	D
1	模擬試験	受検者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
2	ITパスポート模擬試験①	20	8	40
3	ITパスポート模擬試験②	20	9	45
4	ITパスポート模擬試験③	20	10	50
5	ITパスポート模擬試験④	20	11	55
6	ITパスポート模擬試験⑤	20	11	55

表示する情報は、以下の通りである。

A列）模擬試験

B列）受検者数(人)

C列）合格者数(人)

D列）合格率(%)

それぞれの項目を説明する。

A 列） 模擬試験は、模擬試験の試験名称が表示される。
この項目は、模擬試験(本番モード)合格率グラフの水平軸に使用される。

B 列） 受験者数(人)は、該当の模擬試験を受験した人数が表示される。
この項目は、C 列） と共に、模擬試験(本番モード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

C 列） 合格者数(人)は、該当の模擬試験を合格した人数が表示される。
この項目は、B 列） と共に、模擬試験(本番モード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

D 列） 合格率(%)は、該当の模擬試験の合格率が表示される。
この項目は、模擬試験(本番モード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

模擬試験(本番モード)平均点グラフ CSV のフォーマットは、表 4 の通りである。

表 4 模擬試験(本番モード)平均点グラフ CSV フォーマット

模擬試験	平均点

図 6 をもとに、模擬試験(本番モード)平均点グラフ CSV の作成方法について説明する。

図 6 模擬試験(本番モード)平均点 CSV

	A	B
1	模擬試験	平均点
2	ITパスポート模擬試験①	0
3	ITパスポート模擬試験②	60
4	ITパスポート模擬試験③	70
5	ITパスポート模擬試験④	60
6	ITパスポート模擬試験⑤	80

表示する情報は、以下の通りである。

A列) 模擬試験

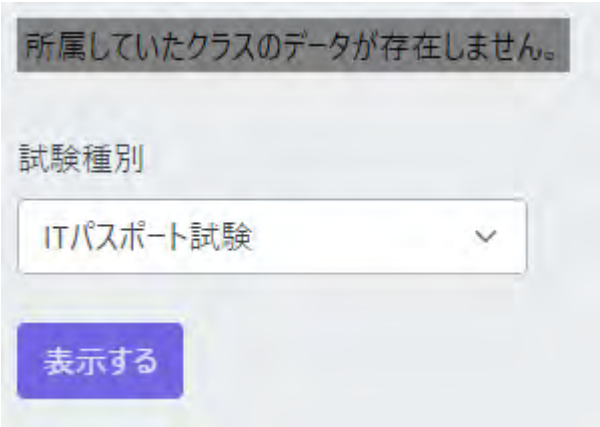
B列) 平均点

それぞれの項目を説明する。

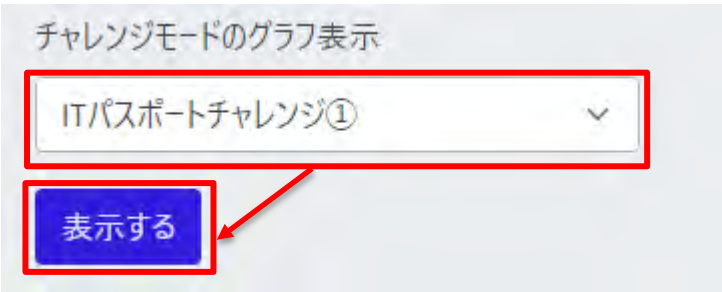
A 列) 模擬試験は、模擬試験の試験名称が表示される。
この項目は、模擬試験(本番モード)平均点グラフの水平軸に使用される。

B 列) 平均点は、クラス単位での模擬試験の平均点が表示される。
この項目は、模擬試験(本番モード)平均点グラフの垂直軸に使用される。

本番モードの合格率グラフと平均点グラフと共に後述のチャレンジモードの合格率グラフと、学年・クラスごとの正答率グラフを表示するための入力エリアも表示される。
尚、所属クラスのない教員の場合、「表示する」ボタンを押下することができない。



模擬試験チャレンジモードの合格率グラフを表示するには、以下のドロップダウンからチャレンジモードの模擬試験を選択し、「表示する」ボタンを押下することで画面に表示される。



「表示する」ボタンを押下すると、選択した模擬試験チャレンジモードに応じた合格率グラフが表示される。本番モードのグラフと異なり X 軸が実施回数となっているため、実施回数に応じて成績が変化している様子を確認することができる。



模擬試験(チャレンジモード)の合格率グラフにて出力される CSV のフォーマットは、表 5 の通りである。

表 5 模擬試験(本番モード)の合格率グラフ CSV フォーマット

模擬試験	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)

図 7 をもとに、模擬試験(本番モード)合格率 CSV の作成方法について説明する。

図 7 模擬試験(チャレンジモード)合格率 CSV

	A	B	C	D
1	模擬試験	受検者数(	合格者数(	合格率(%)
2	1回目	20	9	45
3	2回目	20	11	55
4	3回目	20	13	65

表示する情報は、以下の通りである。

A列) 模擬試験

B列) 受検者数(人)

C列) 合格者数(人)

D列) 合格率(%)

それぞれの項目を説明する。

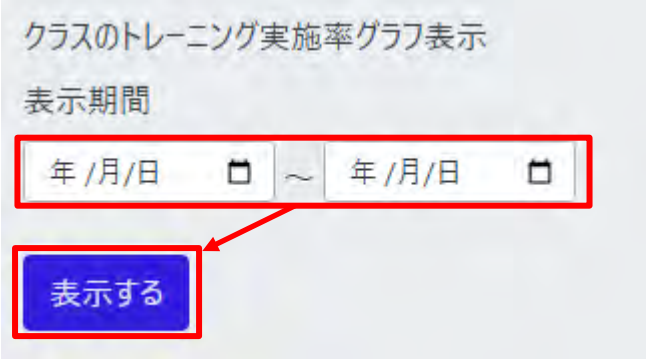
A 列) 模擬試験は、模擬試験(チャレンジモード)の実施回数が表示される。
この項目は、模擬試験(チャレンジモード)合格率グラフの水平軸に使用される。

B 列) 受験者数(人)は、該当の模擬試験を受験した人数が表示される。
この項目は、C 列) と共に、模擬試験(チャレンジモード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

C 列) 合格者数(人)は、該当の模擬試験を合格した人数が表示される。
この項目は、B 列) と共に、模擬試験(チャレンジモード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

D 列) 合格率(%)は、該当の模擬試験の合格率が表示される。
この項目は、模擬試験(チャレンジモード)合格率グラフの垂直軸の 1 つとして使用される。

クラスのトレーニング実施率グラフを表示するには、表示期間の開始終了日時を入力した後に「表示する」ボタンを押下することで画面に表示される。表示期間がどちらも未入力の場合は当日のみとなる。開始日時が未入力の場合は終了日のみとなり、終了日時が未入力の場合は開始日から当日までの期間となる。



「表示する」ボタンを押下すると、所属クラスの生徒のうち、トレーニングを実施した人数が日付ごとに表示される。



クラスのトレーニング実施率グラフにて出力される CSV のフォーマットは、表 6 の通りである。

表 6 クラスのトレーニング実施率グラフ CSV フォーマット

日付	実施人数	実施者 ID

図 8 をもとに、クラスのトレーニング実施率グラフ CSV について説明する。

図 8 クラスのトレーニング実施率グラフ CSV

	A	B	C	D
1	日付	実施人数	実施者ID	
2	2024/11/6	0	実施者なし	
3	2024/11/7	0	実施者なし	
4	2024/11/8	2	S23901	S23902

表示する情報は、以下の通りである。

1） 日付
2） 実施人数
3） 実施者 ID

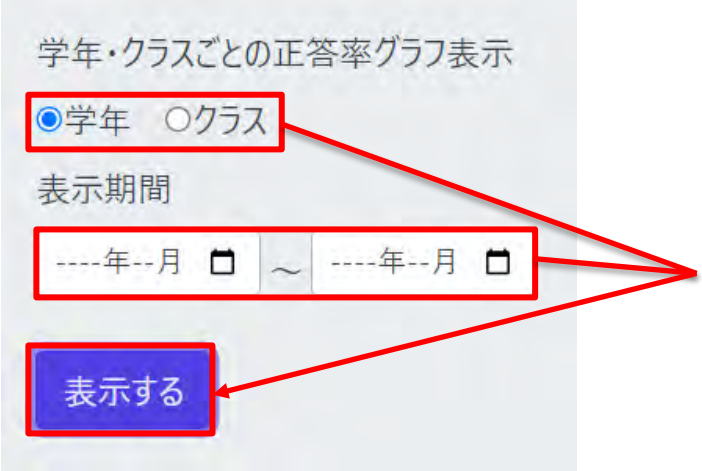
それぞれの項目を説明する。

A 列）日付は、入力した表示期間内の日付を表示する。
この項目は、クラスのトレーニング実施率グラフの X 軸に使用される。

B 列）実施人数は、クラスに所属している生徒のトレーニング実施人数を表示する。
この項目は、クラスのトレーニング実施率グラフの Y 軸に使用される。

C 列）実施者 ID は、トレーニングを実施した生徒のユーザーID を表示する。
実施した人数分の ID が C 列以降の列に表示されていく。
成績情報画面で、この項目を利用することにより、トレーニングの実施回数や成績を調べることができる。

学年・クラスごとの正答率グラフを表示するには、以下のラジオボタンから対象となるデータの範囲を選択し、表示期間の開始終了日時を入力した後に「表示する」ボタンを押下することで画面に表示される。表示期間が未入力の場合は全期間となる。



「表示する」ボタンを押下すると、「学年」または「クラス」の正答率が画面に表示される。尚、このグラフに使用されるデータはトレーニング、模擬試験を区別せず、全ての回答内容を基に算出している。



学年・クラスごとの正答率グラフの凡例は、図 9 の通りである。

図 9 学年・クラスごとの正答率グラフ凡例



表示する情報は、以下の通りである。

1) 正答率
2) 問題回答数

それぞれの項目を説明する。

1）正答率は、学年、またはクラスに所属する全生徒の 1 か月ごとの問題正答率を表示している。

2）問題回答数は、学年、またはクラスに所属する全生徒が回答した問題の合計数を 1 か月ごとに表示している。

CSV ボタンを押下すると、選択したグラフで使用されるデータの一覧を CSV ファイルとしてダウンロードできる。



学年・クラスごとの正答率グラフ CSV のフォーマットは、表 7 の通りである。

表 7 学年・クラスごとの正答率グラフ CSV フォーマット

日付	正答率(%)	問題回答数

図 10 をもとに、学年・クラスごとの正答率グラフ CSV について説明する。

図 10 学年・クラスごとの正答率グラフ CSV

	A	B	C
1	日付	正答率(%)	問題回答数
2	2023-04	0	42
3	2023-05	28.978389	5090
4	2023-06	54.79371316	5090
5	2023-07	61.0805501	5090
6	2023-08	56	5000
7	2023-09	64.66666667	6000
8	2024-10	0	45

表示する情報は、以下の通りである。

1） 日付
2） 正答率
3） 問題回答数

それぞれの項目を説明する。

A 列）日付は、1 か月単位での年月を表示する。
この項目は、学年・クラスごとの正答率グラフの X 軸に使用される。

B 列）正答率は、学年、またはクラスでの 1 か月ごとの問題正答率を表示する。
この項目は、学年・クラスごとの正答率グラフの左 Y 軸に使用される。

C 列）問題回答数は、学年、またはクラスでの 1 か月ごとの問題回答数を表示する。
この項目は、学年・クラスごとの正答率グラフの右 Y 軸に使用される。

4.2.　成績情報全体画面

成績情報全体画面は、サイドメニューの「成績情報」を押下することでアクセスできる。

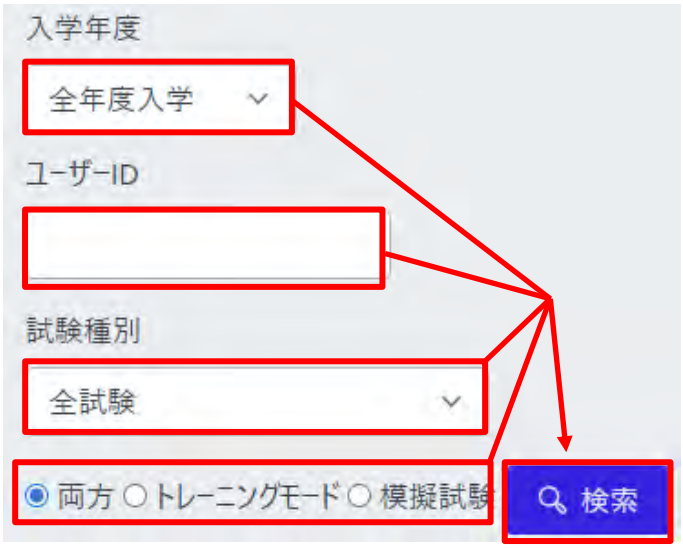


当画面からは、入学年度、ユーザーID、試験種別、実施区分ラジオボタンから生徒の検索を行い、検索条件に該当した生徒の一覧を、直近の成績情報とともに表示することができる。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 成績情報個別画面

生徒の検索については、以下の「入学年度」、「ユーザーID」、「試験種別」またはその全てを入力し「実施区分」ラジオボタンを選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



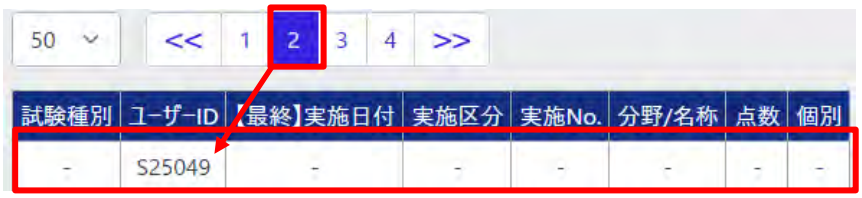
検索を実行した場合、検索条件に該当する生徒の一覧を表示する。

トレーニングまたは模擬試験を 1 回以上実施した生徒には、個別ボタンが表示され、押下することで、その生徒の成績情報個別画面に遷移する。



一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの生徒一覧が表示される。



4.3. 成績情報個別画面

成績情報個別画面は、教員と生徒で同じ画面を共有している為、説明は、成績情報個別画面にて行う。

4.4. 成績情報詳細画面

成績情報詳細画面は、教員と生徒で同じ画面を共有している為、説明は、成績情報詳細画面にて行う。

4.5.　模擬試験結果分析画面

模擬試験結果分析画面は、サイドメニューの「模擬試験結果分析」を押下することでアクセスできる。

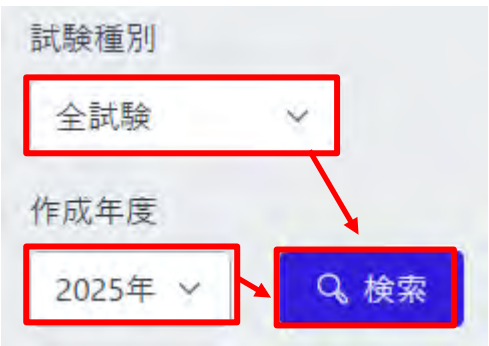


当画面は、試験種別と作成年度から登録されている模擬試験の検索を行い、検索条件に該当する模擬試験を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 模擬試験結果分析詳細画面

模擬試験の検索については、以下の「試験種別」と「作成年度」を選択し、「検索」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。



※ 画面表示時は登録済みの模擬試験の中で作成年度が最新の年度を選択している状態にする。

模擬試験管理画面の表示時、または検索を実行した場合、模擬試験一覧に、検索条件に該当した模擬試験の情報を表示する。
また、各画面にアクセスするボタンの内容は下記通りである。





模擬試験一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。
ページボタンを押下すると、選択したページの模擬試験一覧が表示される。



　模擬試験結果詳細画面

模擬試験結果詳細画面は、模擬試験一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。

当画面は、模擬試験の内容と正答率と過去使用回数に沿った問題の一覧を表示することができる。





4.6. 学習結果分析画面

学習結果分析画面は、サイドメニューの「学習結果分析機能」を押下することでアクセスできる。



当画面は、教員が担当するクラスに所属する生徒が回答した問題の検索を行い、検索条件に該当した問題を、正答率が低く、誤答が特定の回答に偏っている問題から順に表示することができる。

また、当画面から、学習結果詳細画面にアクセスできる。

問題の検索については、以下の「年度」、「学年」、「クラス」、「試験種別」を選択し、「正答率」を入力してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、問題一覧に、検索条件に該当した問題が表示される。

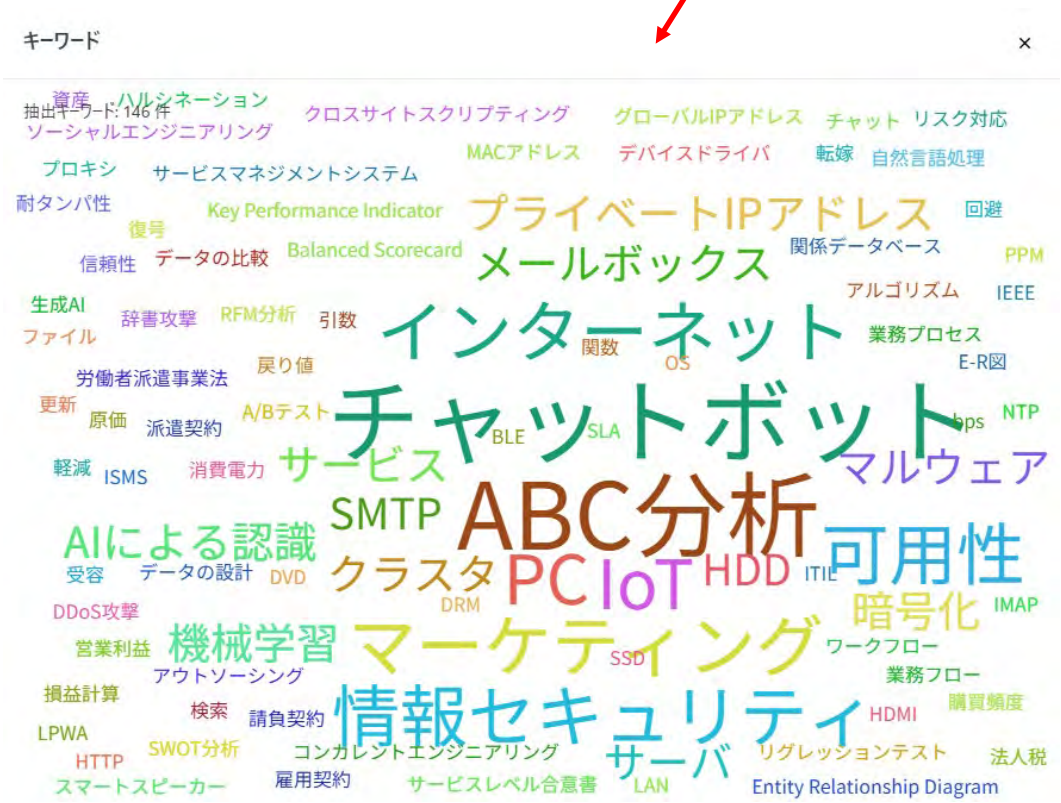
1 つの問題ごとに、詳細ボタンが表示され、押下することで、その問題の画像や出典を表示する詳細画面へ遷移する。



問題一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

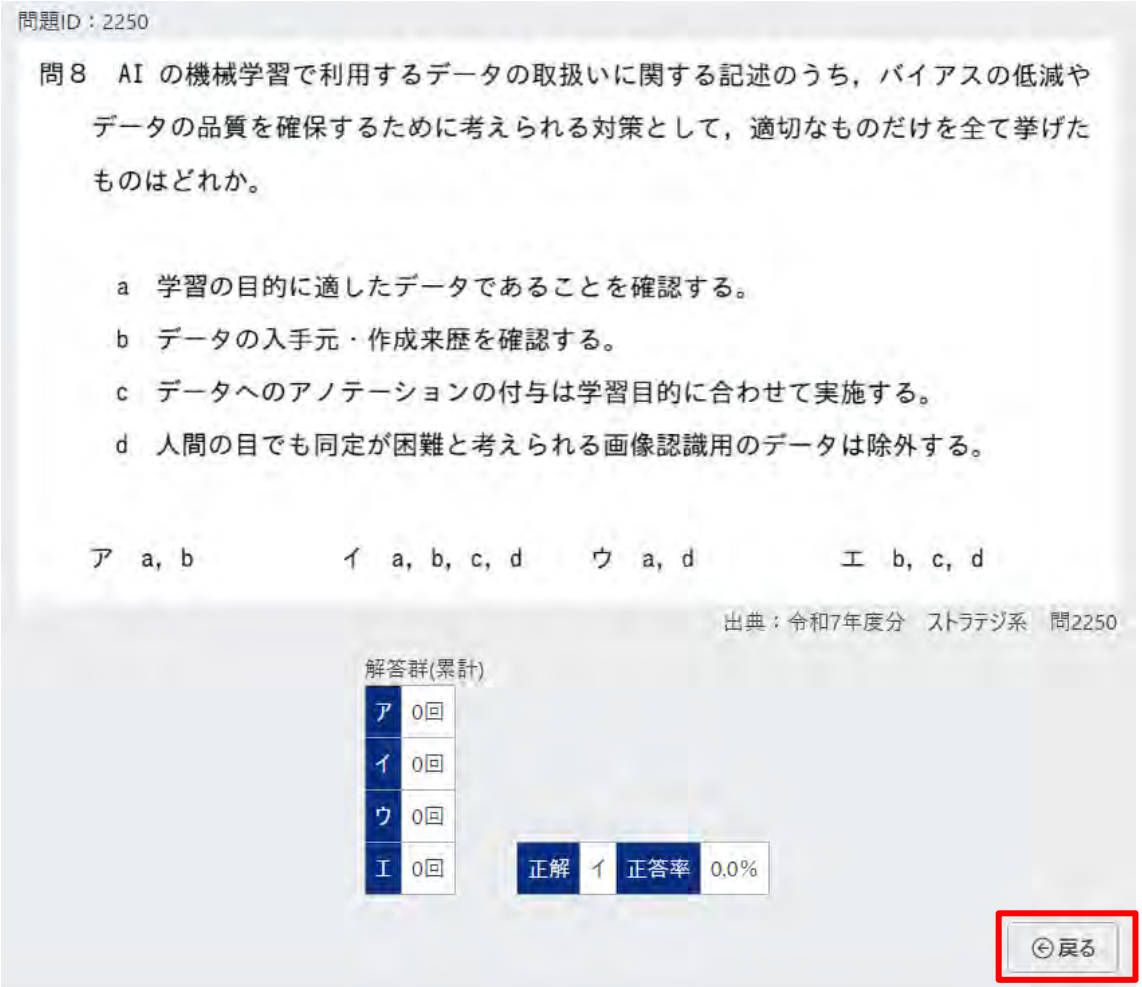
ページボタンを押下すると、選択したページのクラス一覧が表示される。ページャーの右にあるキーワードボタンを押下すると検索条件にヒットした問題に紐づくキーワードの傾向を把握できる。正答率の条件と組み合わせて、正答率の高い問題の傾向や低い問題の傾向をキーワードから把握することができる。





学習結果詳細画面

学習結果詳細画面は、問題一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、問題の画像、出典、各選択肢に生徒が回答した回数、正解の選択肢、正答率を表示することができる。

戻るボタンを押下することで、学習結果分析画面にアクセスできる。

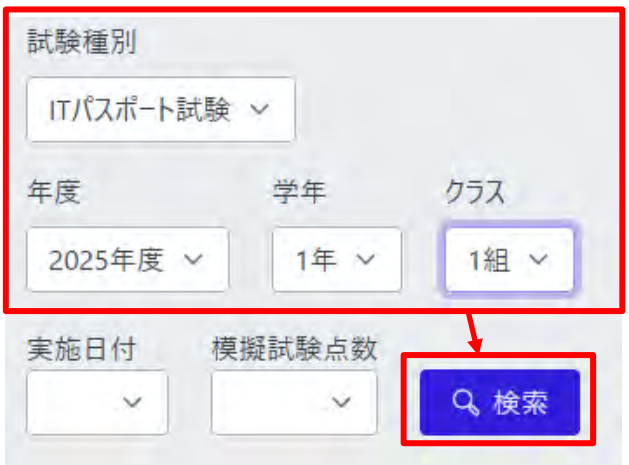
4.7.　利用状況分析画面

利用状況分析画面は、サイドメニューの「利用状況分析」を押下することでアクセスできる。

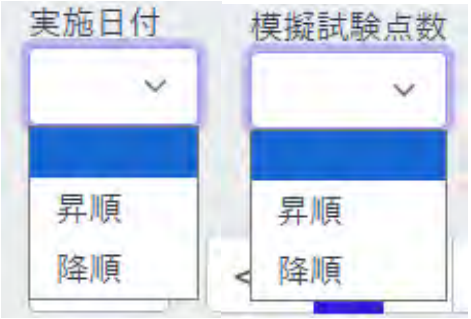


当画面は、クラスごとの利用状況の一覧表示と生徒個別の利用状況を確認できる。
試験種別と年度、学年、クラス（ログインしている教員が所属するクラスのみ）を選択して検索する。
また、当画面から、利用状況詳細画面にアクセスできる。

生徒の検索については、以下の「試験種別」、「年度」、「学年」、「クラス」を選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



実施日付と模擬試験点数は一覧のソート順の設定でそれぞれ昇順・降順が設定できる。必須ではない。



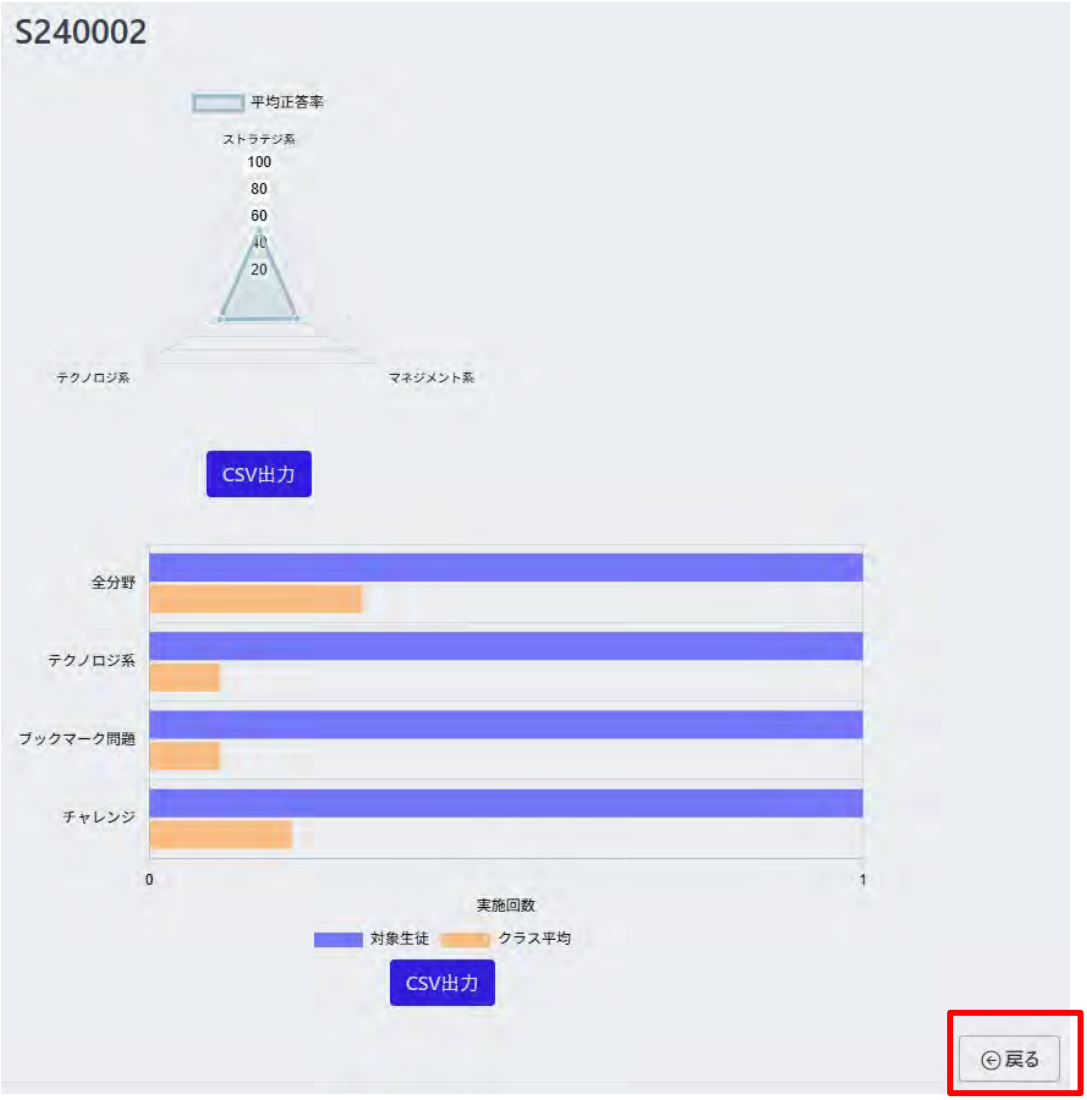
一覧にはクラスの生徒全員が表示され、模擬試験の最終実施日付、トレーニング実施回数、模擬試験実施回数、模擬試験の最新得点率と詳細ボタンが表示される。詳細ボタンを押下すると生徒の分野ごとの正答率と練習回数が表示される。



ユーザーID	【最終】実施日付	トレーニング実施回数	模擬試験実施回数	最新模擬試験点数	詳細
S240001	2025-12-17 14:43:23	1	1	0%	詳細
S240002	2025-12-18 14:29:50	3	1	25%	詳細
S25001	-	1	0	-	詳細

利用状況詳細画面

利用状況詳細画面は、生徒一覧の、詳細ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、分野ごとの正答率やトレーニングやチャレンジ試験の実施回数問題を表示することができる。

戻るボタンを押下することで、利用状況分析画面にアクセスできる。

クラスの生徒がブックマークした問題がある場合、その問題に紐づくキーワードの概要を確認できる。これにより、クラスごとのブックマークの傾向を把握でき、キーワードを使って模擬試験を作る際に利用できる。



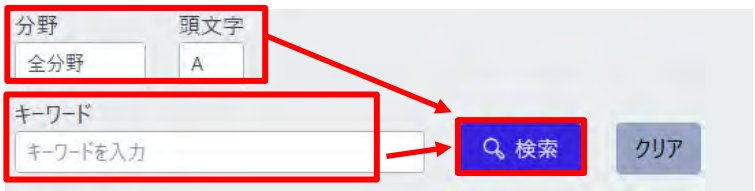


4.8. 問題とキーワード紐づけ画面

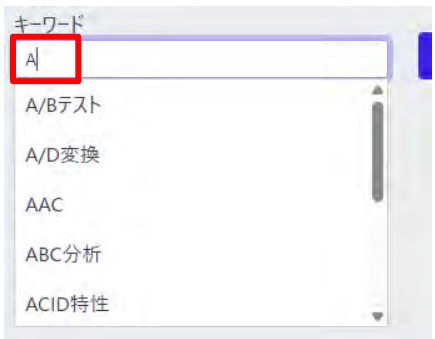
問題とキーワード紐づけ画面は、サイドメニューの「問題とキーワード紐づけ」を押下することでアクセスできる。



当画面は、IT パスポート試験シラバスに出てくるキーワードと関連する問題へのリンクを一覧にして表示する。



「分野」「頭文字」を指定しての複数のキーワードでの検索や、キーワードを入力して検索が可能で、全ての文字を入力しなくても登録済みのキーワードが候補としてドロップダウンに現れる。





キーワードの表示設定

キーワードに対して関連する問題の確認・設定と、非表示/表示が設定できる。

キーワードごとにトグルスイッチで非表示/表示を設定する（関連する問題全てでキーワードの非表示/表示）ことができる。



また、問題数のボタンを押下するとキーワード詳細のモーダルが表示される。



キーワード詳細モーダル画面で特定の問題に対してのみチェックボックスで表示を設定できる。

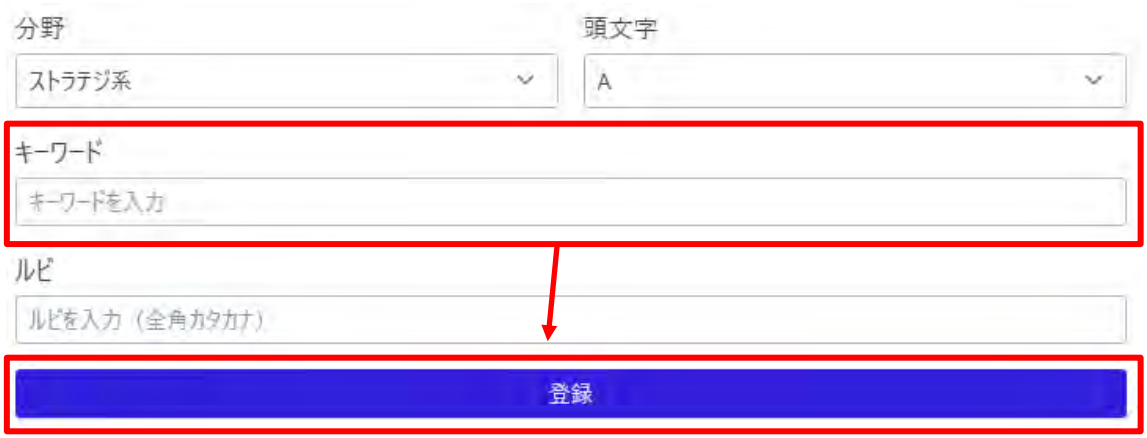


新しいキーワードの追加、紐づけの追加

問題下にある「▶キーワード」をクリックすると、キーワードの追加枠が表示される。ここで新しいキーワードの追加、もしくは登録済みのキーワードとの新しい紐づけが登録できる



既存のキーワード（一覧で表示されているキーワード）との紐づけはキーワードのみ入力し、登録ボタンを押下する。



全く新しいキーワードとの紐づけは「分野（必須）」「頭文字（必須）」「キーワード（必須）」「ルビ（任意）」を入力の上登録ボタンを押下する。



模擬試験管理画面の表示時、または検索を実行した場合

4.9.　試験種別キーワード表示画面

試験種別キーワード表示画面は、サイドメニューの「試験種別キーワード表示」を押下することでアクセスできる。



当画面は、生徒の成績情報詳細画面に問題に紐づくキーワードを表示するか表示しないかを設定できる。各トレーニング分野と模擬試験でキーワードの表示をトグルスイッチにて設定し、クリックするごとに即時更新される。

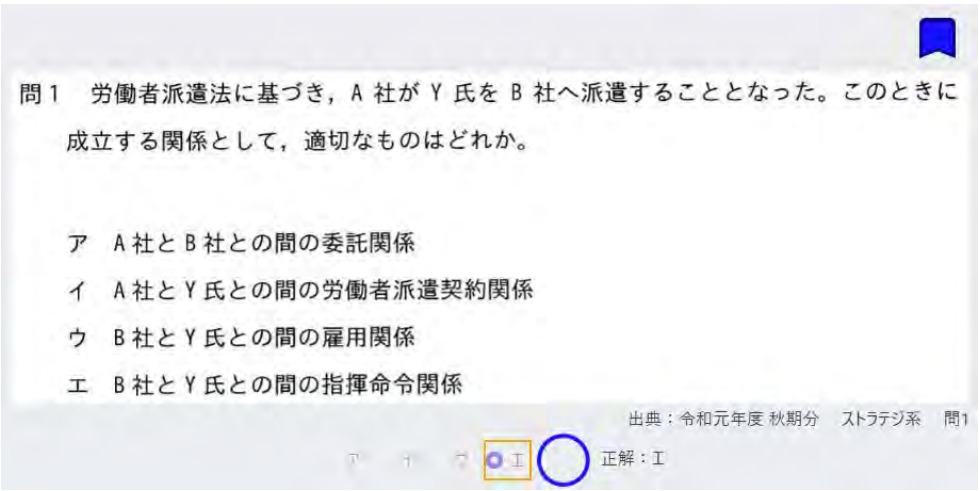
非表示の場合：



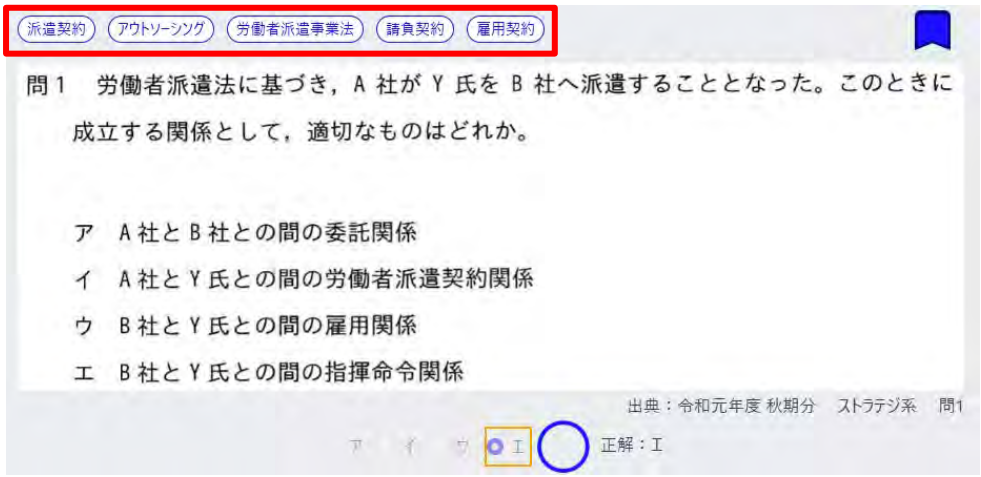
表示の場合：



成績情報詳細画面で「非表示」の場合：



成績情報詳細画面で「表示」の場合：



4.10. 模擬試験管理画面

模擬試験管理画面は、サイドメニューの「模擬試験管理」を押下することでアクセスできる。

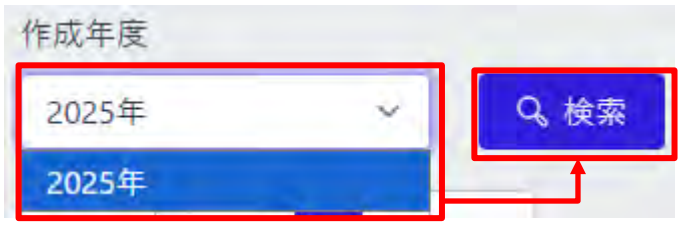


当画面は、作成年度から登録されている模擬試験の検索を行い、検索条件に該当する模擬試験を一覧にして表示する。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 模擬試験新規作成画面
- 問題セット作成画面
- 模擬試験編集画面

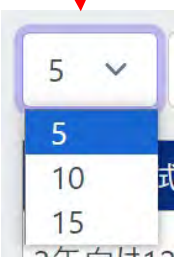
模擬試験の検索については、以下の「作成年度」を選択し、「検索」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。



※ 画面表示時は登録済みの模擬試験の中で作成年度が最新の年度を選択している状態にする。

模擬試験管理画面の表示時、または検索を実行した場合、模擬試験一覧に、検索条件に該当した模擬試験の情報を表示する。
また、各画面にアクセスするボタンの内容は下記通りである。
「模擬試験作成」ボタンを押下することで、模擬試験新規作成画面にアクセスする。
「問題セット作成」ボタンを押下することで、問題セット作成画面にアクセスする。
「編集」ボタンを押下することで、模擬試験編集画面にアクセスする。
「コピー」ボタンを押下することで、模擬試験新規作成画面にアクセスする。





模擬試験一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。
ページボタンを押下すると、選択したページの模擬試験一覧が表示される。

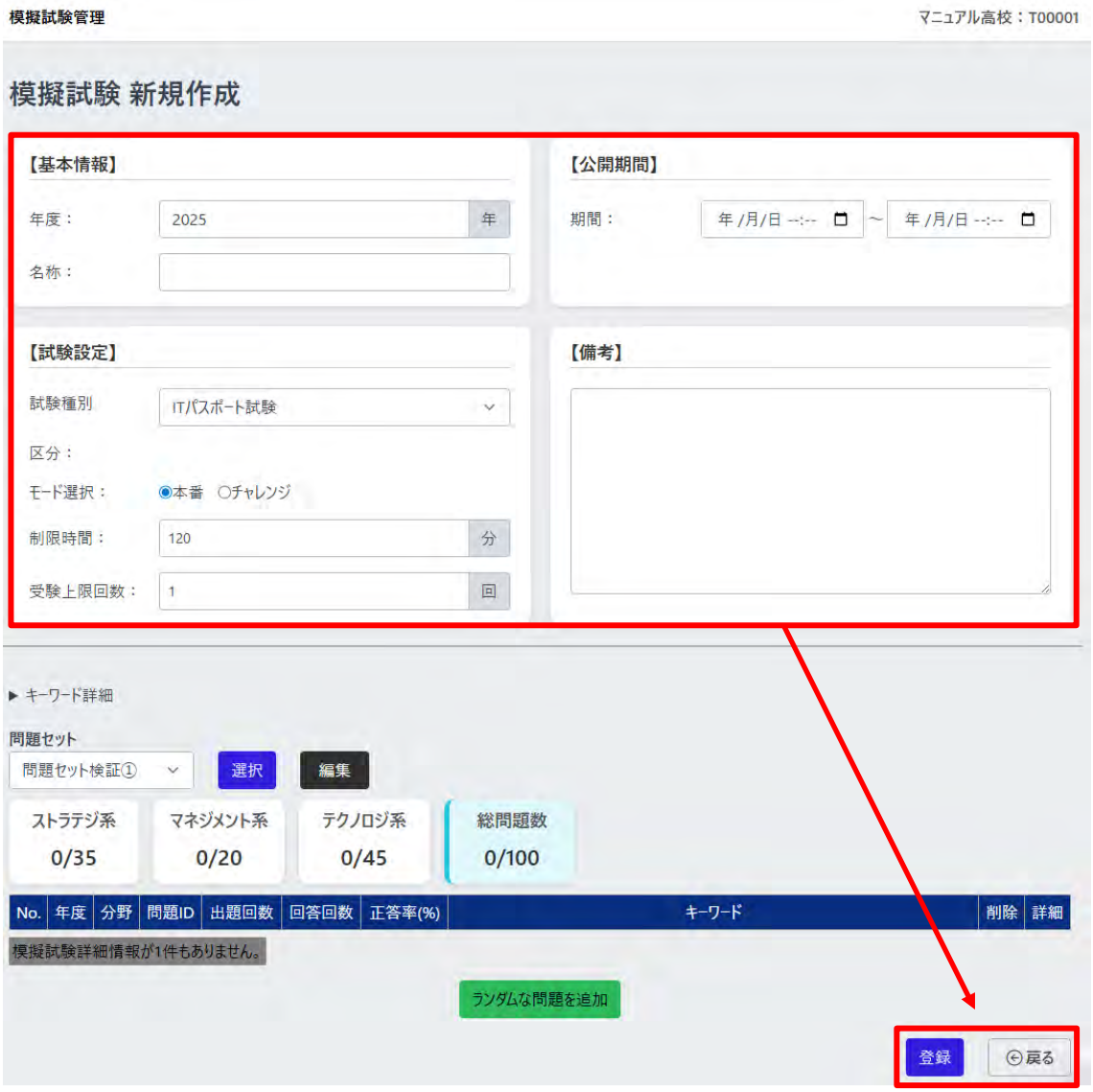




なお、通常は表示されないが、模擬試験を生成する際に利用する正答率などの情報が一定期間更新されていないと「統計情報更新」ボタンが表示される。通常は夜間バッチによって自動的に統計情報が更新されるため、表示されない。表示された場合にのみボタンを押下して統計情報を更新する。

4.11. 模擬試験新規作成画面

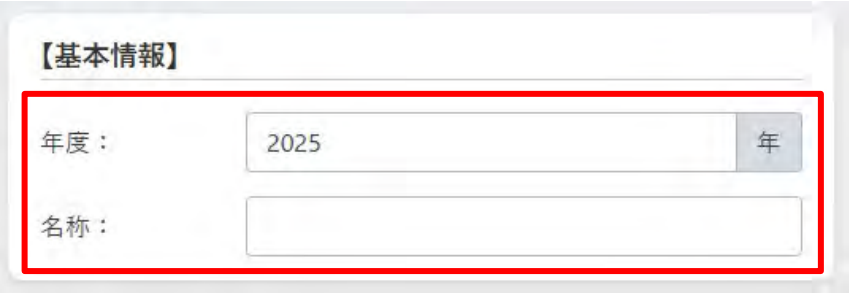
模擬試験新規作成画面は、模擬試験管理画面の「新規作成」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面では、年度、名称、試験種別、制限時間、公開期間、備考の情報と過去問題を追加し、「登録」ボタンを押下することで、模擬試験を新規で作成することができる。また、「戻る」ボタンを押下することで、模擬試験管理画面にアクセスできる。

過去問題一覧に表示される各問題には、「詳細」ボタンがあり、押下することで、以降の模擬試験問題詳細画面にアクセスできる。

模擬試験の名称等の設定



① 年度

模擬試験の利用年度の設定をする項目である。

下記画像のようにテキストボックスとカウントボタンを用いて、年度の設定を行う。

▲ボタンを押下すると数値が増加し、▼ボタンを押下すると数値が減少する

また、直接入力も可能である。ただし、この年度は管理上の年度であって受験期間の縛り等は発生しない。入力必須の項目である。



② 名称

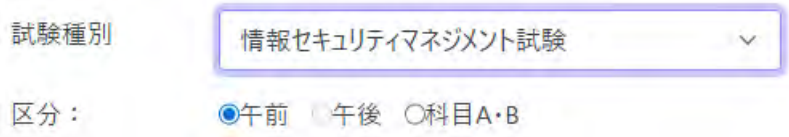
模擬試験の名称を設定する項目である。入力必須の項目である。



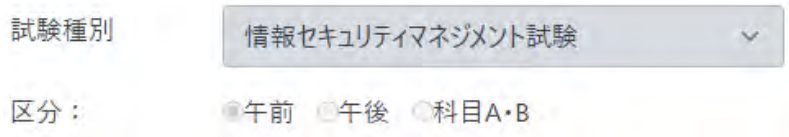
③ 試験種別

模擬試験に追加する問題の試験種別を設定する項目である。

IT パスポート試験以外を選択することで、分野を設定するラジオボタンが表示され、選択した分野に該当する問題のみが追加することができる。



ただし、1 問でも問題を追加している場合は変更することができない。



④　モード選択

1 回のみ受験可能な「本番」と複数回受験可能な「チャレンジ」のモードのどちらかを設定する。



⑤　制限時間

模擬試験の制限時間を設定する項目である。

①と同様に直接入力、またはカウントボタンを用いて設定を行う。入力必須の項目である。



⑥　受験上限回数

チャレンジモードの場合の受験可能回数の設定を行う。





⑦　公開期間（開始）

模擬試験の公開開始日時を設定する項目である。また、日時は直接入力も可能である。カレンダーの日付と時間を選択し生徒が受験可能な期間の設定を行う。

授業の中で一斉に行う場合はその開始時間を設定することで事前に受験することを防げる。



⑧　公開期間（終了）

模擬試験の公開終了日時を設定する項目である。

④と同様にカレンダー日時を選択、または直接入力することにより設定を行う。



⑨　備考

模擬試験に関する付属情報を設定する項目である。

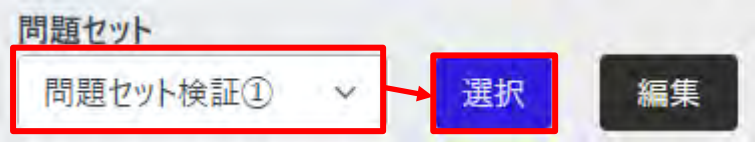
例）模擬試験は一度しか受験できません。

　　制限時間は 120 分です。

過去問題の追加には以下の二つの方法がある。①で中心となる問題を選択し、次に②で不足分をランダムに追加する操作を想定している。

① 「問題セット」からの追加

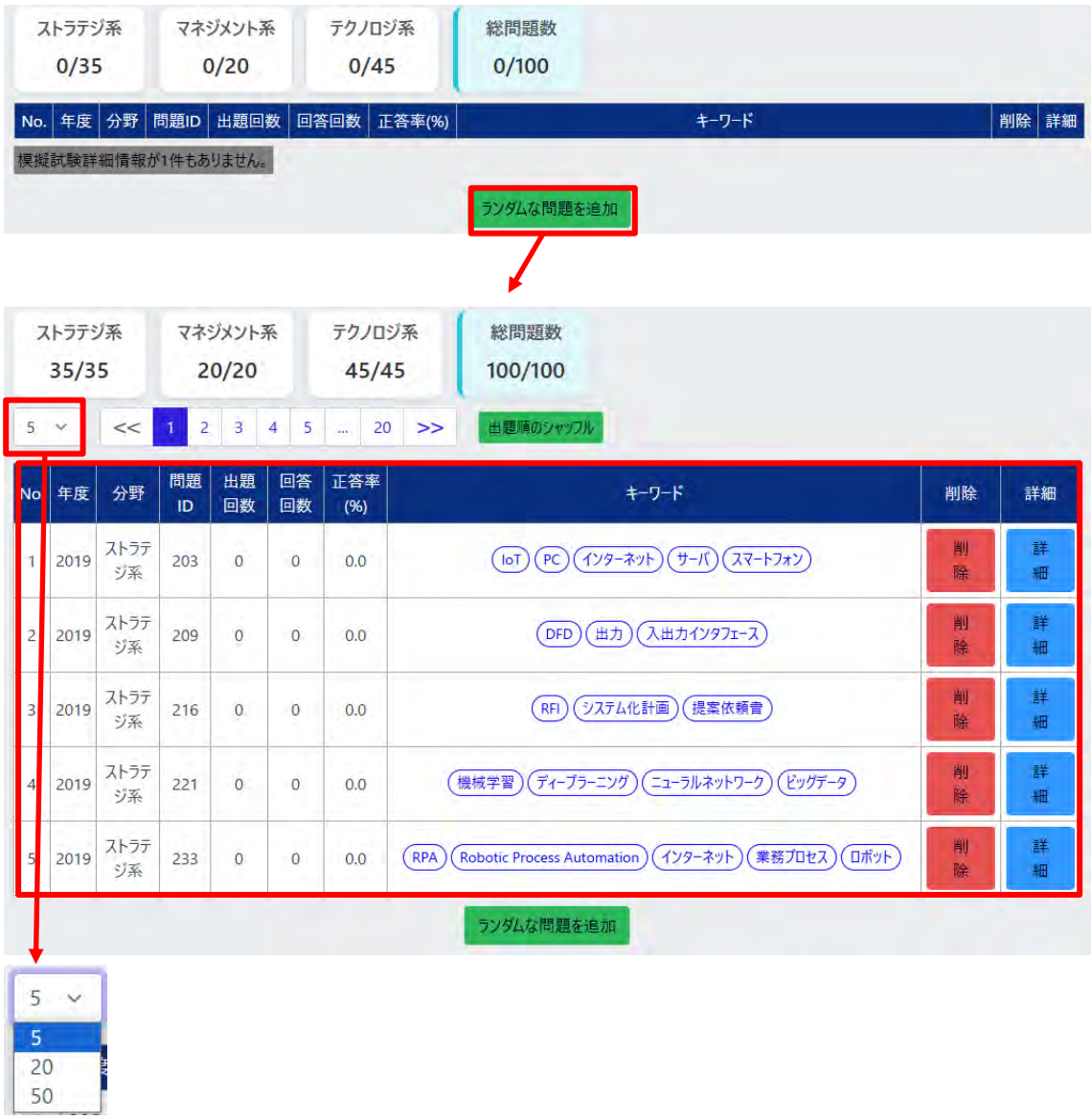
作成済みの問題セットを選択する。キーワードや正答率などの条件で絞り込んだ問題、模擬試験で必ず出題したい問題を含めることができる。



② 「ランダムな問題を追加」ボタンからの追加

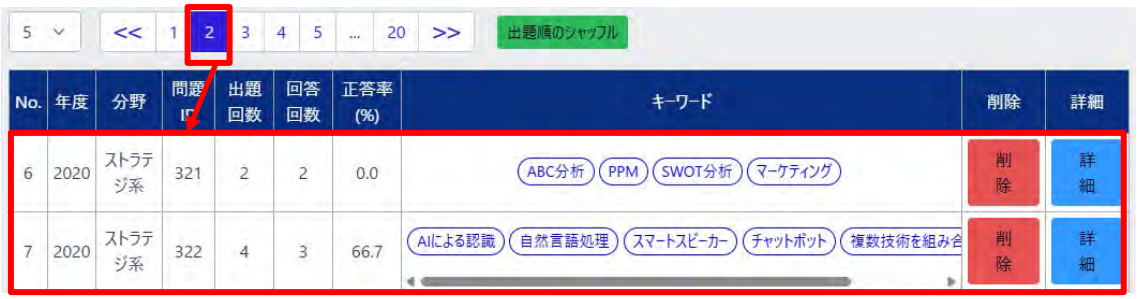
ランダムに問題を追加する方法で、ボタンを押下することでストラテジ系 35 問、マネジメント系 20 問、テクノロジ系 45 問までで不足している問題数分を各分野ランダムに選択し自動的に追加することができる。

IT パスポート試験以外では、選択している分野に該当する問題を 20 問までランダムに選択し、自動的に追加することができる。



追加した過去問題一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。

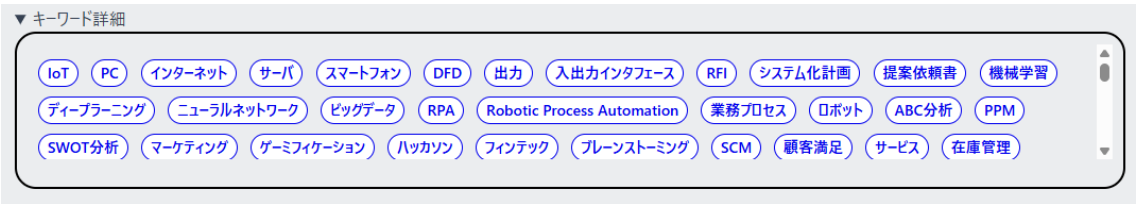


追加した過去問題は「削除」ボタンを押下することで、削除することができる。



キーワードの表示

IT パスポートの模擬試験については問題に含まれるキーワードを確認することができる。



模擬試験コピー機能



一覧の「コピー」ボタンを押下することで、既存の模擬試験の内容をコピーした模擬試験新規作成画面を呼び出すことができる。試験内容はコピー元と全く同じになるが、名称は末尾に「(コピー)」が追加されたものとなり、すぐに登録しても見分けが付くようになっている。



また、「出題順のシャッフル」ボタンを押下すると、問題の差し替えはせずに出題順のみランダムに変更する事が可能になる。模擬試験コピー機能の用途として、学内で実施する模擬試験の練習のため本番モードの試験とは別に出題内容の全く同じチャレンジモードの模擬試験を作る事を想定している。


問題セット
ランダム
選択
編集
ストラテジ系
35/35
マネジメント系
20/20
テクノロジ系
45/45
総問題数
100/100
5
<<
1
2
3
4
5
...
20
>>
出題順のシャッフル

4.12. 問題セット作成画面

問題セット作成画面は、模擬試験管理画面の「問題セット作成」ボタンを押下することでアクセスできる。



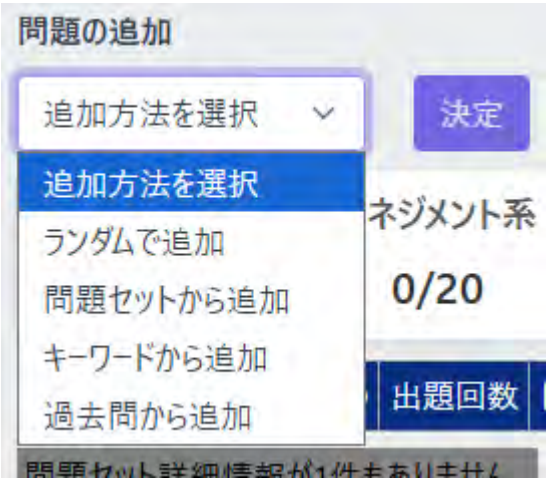
当画面では、年度、名称、試験種別の情報と複数の方法で問題を追加し、「登録」ボタンを押下することで、問題セットを新規で作成することができる。

また、「戻る」ボタンを押下することで、模擬試験管理画面にアクセスできる。

問題セットに問題を追加する方法は

- 問題セットから追加
- キーワードから追加
- 過去問から追加
- ランダムで追加

の 4 つある。上 3 つはモーダルが表示され、そこで問題を選択した上で、登録する。



ランダムで追加を選ぶと、所定の問題数に対して不足している分を追加する。



必要な問題が揃ったら、「登録ボタン」を押下すると問題セットが保存される。



問題セットから追加

既に作成済みの別の問題セット内から問題を選ぶ方法で、チェックボックスで問題を選択の上問題セットに追加する。



問題追加ボタンを押下すると、親画面の問題セットの問題一覧に問題が追加される。
閉じるボタン押下でモーダルが閉じ、問題セット作成画面に戻る

問題の検索については、以下の「年度」、「問題セット」を選択してから「選択ボタン」を押下することで、一覧に問題が表示される。



検索した問題一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。



一覧の詳細ボタンを押下すると、問題が表示される。

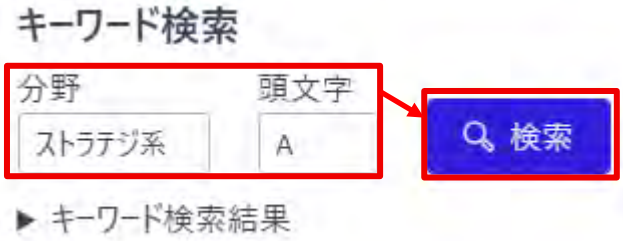
キーワードから追加

キーワードを使って問題を選ぶ方法で、問題を選択の上問題セットに追加する。

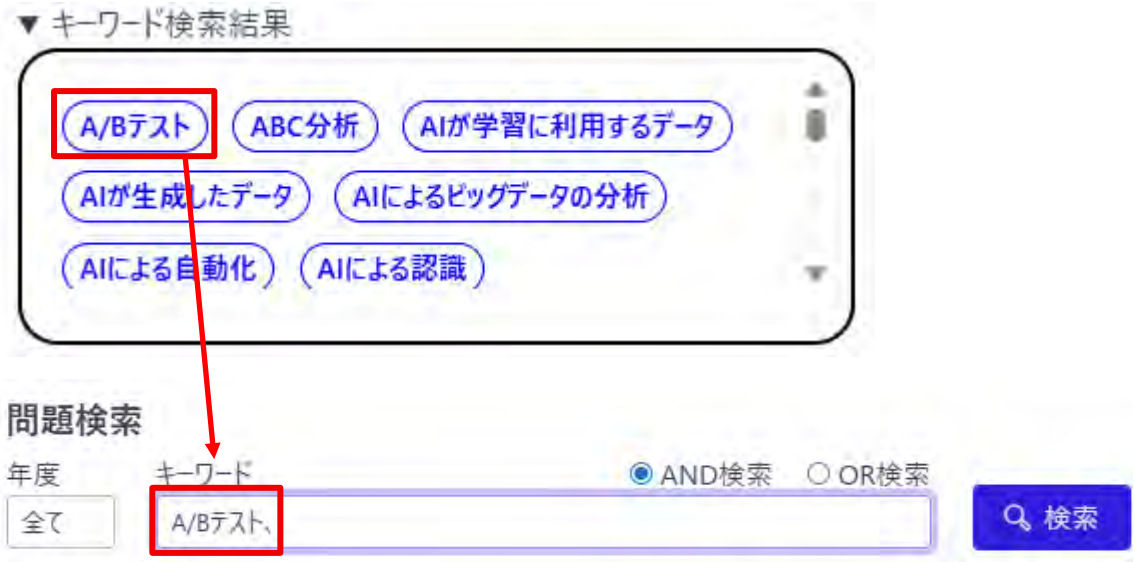


追加ボタンを押下すると、親画面の問題セットの問題一覧に問題が追加される。閉じるボタン押下でモーダルが閉じ、問題セット作成画面に戻る。

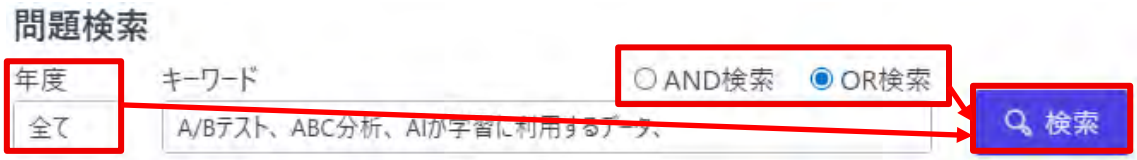
問題の検索の前にまずキーワードを特定する。以下の「分野」、「頭文字」を選択してから「検索ボタン」を押下することで、キーワード検索結果が表示される。



検索結果の表示をクリックすると、問題検索の「キーワード」入力欄に転記できる。



キーワードが特定できたら、以下の「年度」、「AND 検索、OR 検索」を選択してから「検索ボタン」を押下することで、問題の一覧が表示される。



キーワードが関連した問題が一覧に表示される。

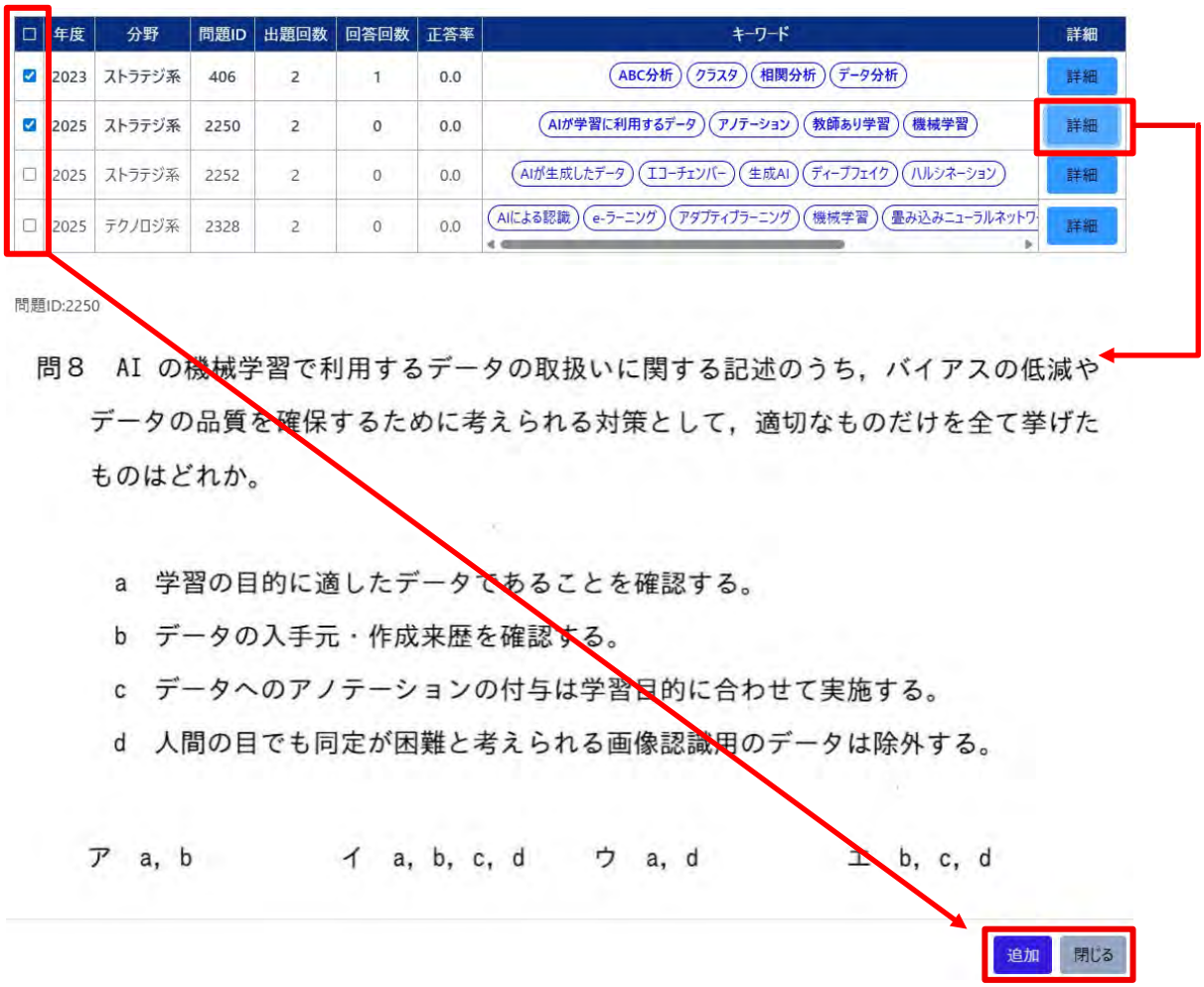






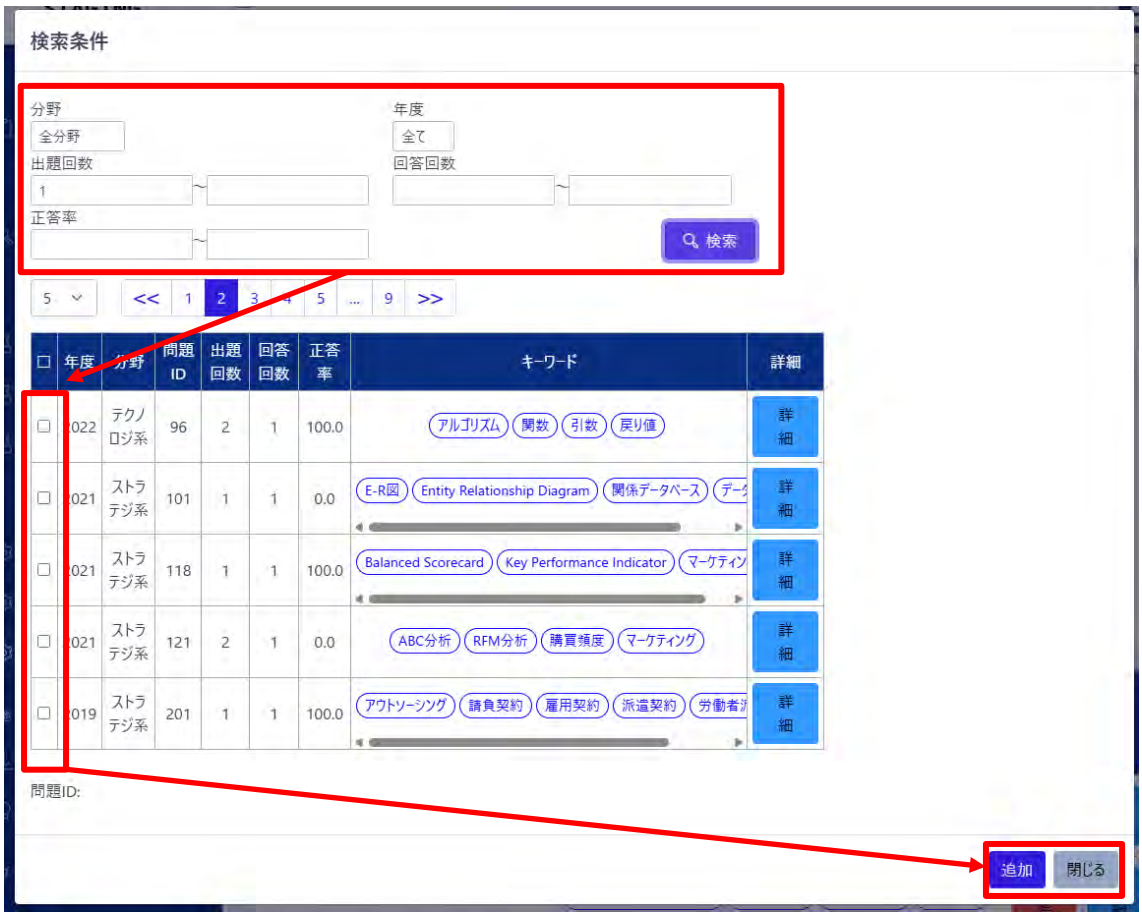
検索した問題一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。


□
年度
分野
問題ID
出題回数
回答回数
正答率
キーワード
詳細
2023 ストラテジ系 406 2 1 0.0 ABC分析 クラスタ 相関分析 データ分析 詳細
2025 ストラテジ系 2250 2 0 0.0 AIが学習に利用するデータ アノテーション 教師あり学習 機械学習 詳細
2025 ストラテジ系 2252 2 0 0.0 AIが生成したデータ エコーチェンバー 生成AI ディープフェイク ハルシネーション 詳細
2025 テクノロジ系 2328 2 0 0.0 AIによる認識 e-ラーニング アダプティブラーニング 機械学習 詳細
問題ID:2250
問８ AI の機械学習で利用するデータの取扱いに関する記述のうち，バイアスの低減やデータの品質を確保するために考えられる対策として，適切なものだけを全て挙げたものはどれか。
a 学習の目的に適したデータであることを確認する。
b データの入手元・作成来歴を確認する。
c データへのアノテーションの付与は学習目的に合わせて実施する。
d 人間の目でも同定が困難と考えられる画像認識用のデータは除外する。
ア a，b イ a，b，c，d ウ a，d エ b，c，d
追加
閉じる

過去問から追加

出題回数や正答率を使って問題を選ぶ方法で、問題を選択の上問題セットに追加する。



当ダイアログでは、教員が過去問題の検索を行い、親画面（模擬試験新規作成、編集画面）に新しく過去問題の追加を行う。

「キャンセル」ボタンを押下することで、過去問検索ダイアログを閉じることができる。

過去問題追加手順としては下記通りである。

①過去問題の検索　→　②問題の詳細確認　→　③親画面に過去問題の追加

①過去問題の検索

分野、年度、出題回数、回答回数、正答率を条件として検索を行い、過去問題一覧を表示することができる。



一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの過去問題一覧が表示される。



②問題の詳細確認

過去問題一覧に表示した各問題の「詳細」ボタンを押下することで、問題文を表示し、詳細を確認することができる。



問題ID:101

問1　E-R 図を使用してデータモデリングを行う理由として，適切なものはどれか。

ア　業務上でのデータのやり取りを把握し，ワークフローを明らかにする。

イ　現行業務でのデータの流れを把握し，業務遂行上の問題点を明らかにする。

ウ　顧客や製品といった業務の管理対象間の関係を図示し，その業務上の意味を明らかにする。

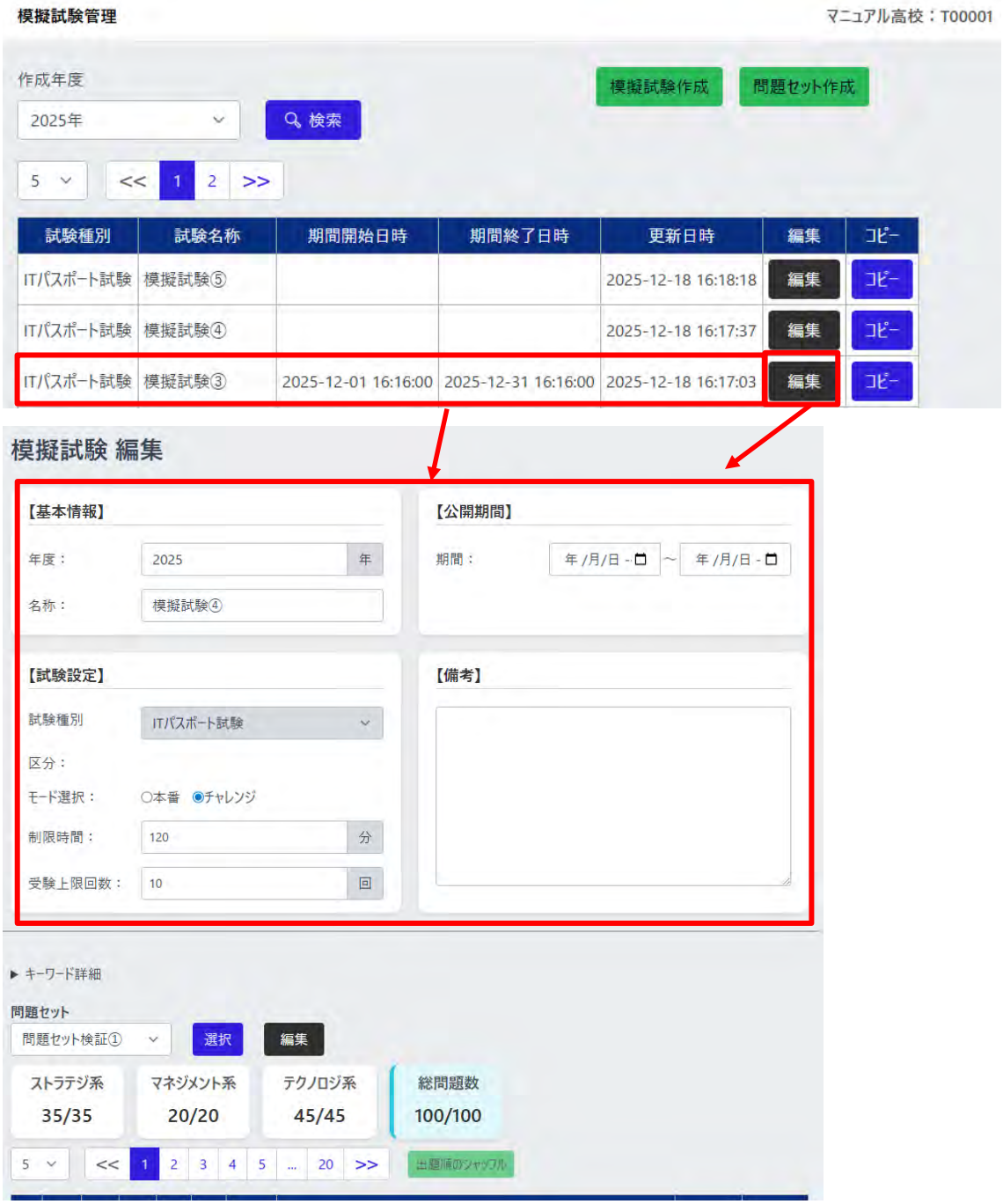
エ　データ項目を詳細に検討し，データベースの実装方法を明らかにする。

4.13. 模擬試験編集画面

模擬試験編集画面は、模擬試験管理画面の「編集」ボタンを押下することで、アクセスできる。

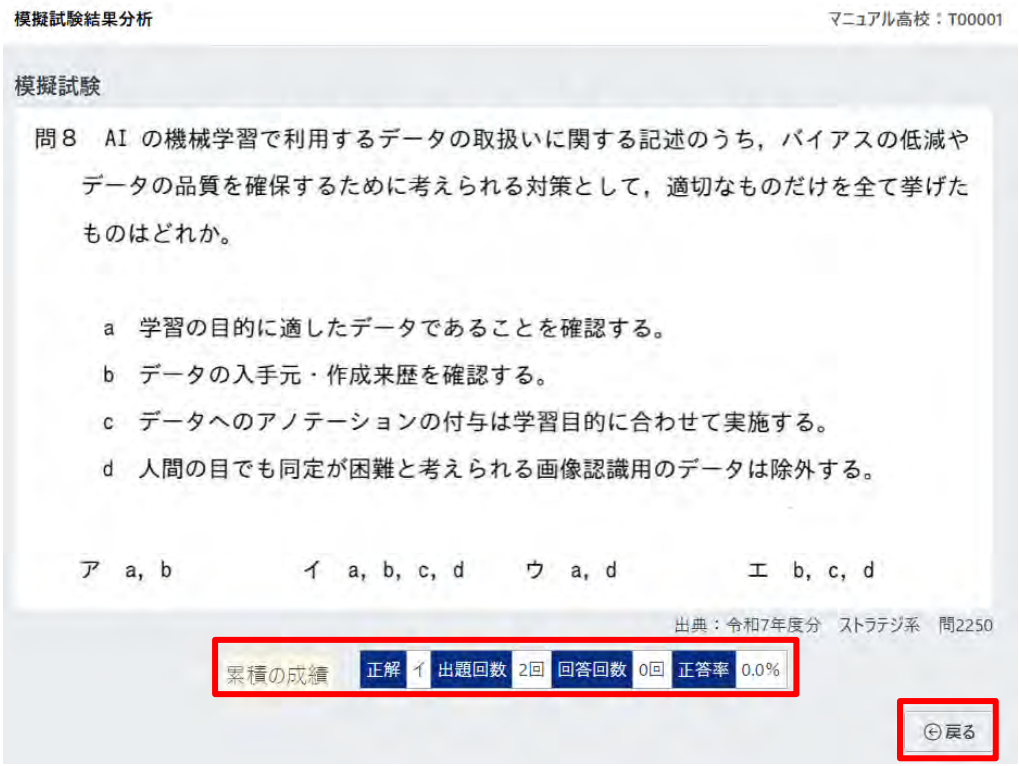
また、操作手順については、模擬試験新規作成画面と同様の為、省略する。

※模擬試験編集画面の場合、模擬試験管理画面で選択した模擬試験の情報を入力した状態で表示される。



4.14. 模擬試験問題詳細画面

模擬試験問題詳細画面は、模擬試験新規作成、編集画面または、模擬試験実施結果画面の「詳細」ボタンを押下することでアクセスできる。



「戻る」ボタンを押下することで、模擬試験新規作成、編集画面または、模擬試験実施結果画面にアクセスできる。

※模擬試験新規作成、編集画面からアクセスの場合、累積の成績情報を表示するが模擬試験実施結果画面からアクセスの場合、模擬試験においての成績情報が表示される。

▼模擬試験新規作成、編集画面からのアクセス



▼模擬試験実施結果画面からのアクセス



4.15. CSV エクスポート画面

CSV エクスポート画面は、サイドメニューの「CSV エクスポート」を押下することでアクセスできる。



当画面は、選択した入学年度の生徒について、トレーニングと模擬試験の成績の詳細を含む実施履歴と、過去の実施結果の閲覧履歴を別々の CSV ファイルでエクスポートできる。

エクスポートしたい種類（トレーニングか模擬試験）を選択し、入学年度の選択にチェックを入れ、「実施履歴ダウンロード」ボタンを押下することで、選択した入学年度に該当する生徒の成績情報の CSV ファイルがエクスポートされる。閲覧履歴のダウンロードも同様の操作となる。

注：無制限集中トレーニングの結果を含めるかどうかについて
無制限集中トレーニングはその他のトレーニングとは違い、総問題数がバラバラで非常に多くなるためエクスポート対象から除外する事ができる。



「全て選択」をチェックすると、対象入学年度を一括して、チェック/チェック解除することができる。



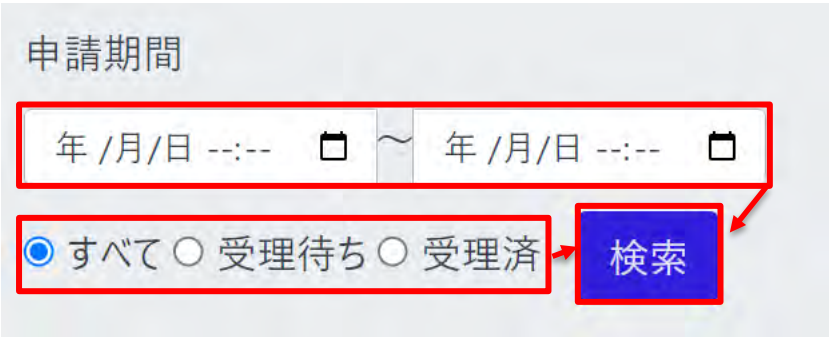
4.16. 合格申請受理画面

合格申請受理画面は、サイドメニューの「合格申請」を押下することでアクセスできる。



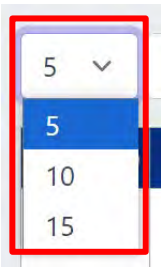
当画面からは、申請期間、申請状態ラジオボタンから生徒の検索を行い、検索条件に該当した生徒の合格申請を表示することができる。

生徒の検索については、以下の「申請期間」を入力し「申請状態」ラジオボタンを選択してから「検索ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、検索条件に該当する生徒の一覧を表示する。
申請中である生徒には、受理ボタンが表示され、既に受理が済んでいる生徒には、受理済ボタンが表示される。
受理ボタンを押下することで、その生徒の申請を受理することができる。





一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

4.17. 画面操作マニュアル

説明は、使用方法(管理者)の画面操作マニュアルと同一である為、省略する。

5. 使用方法(生徒)

5.1. 試験コース選択画面

試験コース選択画面は、ログイン直後、またはヘッダのユーザーアイコンから「試験選択画面へ」を押下することでアクセスできる。



当画面ではトレーニング、模擬試験を行う対象の試験を選択することができる。
各試験コースに応じたボタンを押下することで、その試験コースのダッシュボード画面に遷移する。

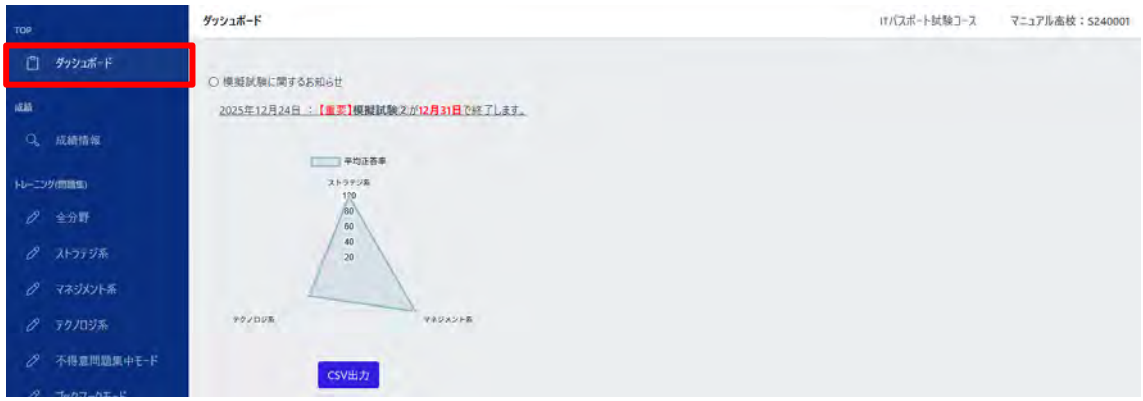
また、試験コースボタンの右下には、ログインしているユーザーの学習状況に合わせて、4 段階に変化するバッジが表示される。

試験コース毎に利用状況が管理されており、利用しない試験コースに該当するボタンはグレーアウトされ、押下することができない。



5.2.　ダッシュボード画面

ダッシュボード画面は、サイドメニューの「ダッシュボード」を押下することでアクセスできる。



当画面では、選択している試験コースに関する成績データを基に、ログインしている生徒に関する様々なグラフや、模擬試験に関するお知らせを表示することができる。また、各グラフに使用しているデータのCSVファイルを出力することもできる。

模擬試験に関するお知らせ

選択している試験コースの模擬試験(本番モード)に関するお知らせが表示される。本画面に遷移することで、模擬試験(本番モード)の公開期間を基に、以下 3 種類の固定文言によるお知らせを自動的に表示する。

【予告】:現在日時から 1 週間以内に公開開始となる模擬試験を示すお知らせ。

2024年10月25日 ：【予告】11月1日より第3回ITパスポート模擬試験が公開されます。

【開始】:現在公開されている模擬試験を示すお知らせ。

2024年10月01日 ：【開始】第2回ITパスポート模擬試験が公開されました。

【重要】:現在日時から 1 週間以内に公開終了となる模擬試験を示すお知らせ。

2024年10月24日 ：【重要】第1回ITパスポート模擬試験が10月31日で終了します。

グラフ表示エリア

トレーニングの平均正答率グラフや実施率グラフ、模擬試験全体結果グラフに関しては、本画面に遷移することで自動的に表示される。各グラフの詳細を以下に示す。



トレーニング平均正答率グラフ

トレーニングの平均正答率グラフ CSV のフォーマットは、表 8 の通りである。

表 8 トレーニング平均正答率グラフ CSV フォーマット

分野	正答率(%)

図 11 をもとに、トレーニング平均正答率 CSV について説明する。

図 11 トレーニング平均正答率 CSV

	A	B
1	分野	正答率(%)
2	ストラテジ系	35
3	マネジメント系	51
4	テクノロジ系	42

表示する情報は、以下の通りである。

A列) 分野

B列) 正答率(%)

それぞれの項目を説明する。

A 列) 分野は、選択した試験コースに準じた分野を表示する。
この項目は、トレーニング平均正答率グラフのラベルとして使用される。

B 列) 正答率(%)は、分野ごとの平均正答率を表示する。
この項目は、トレーニング平均正答率グラフのデータとして使用される。

トレーニング実施率グラフ

トレーニングの実施率グラフ CSV のフォーマットは、表 9 の通りである。

表 9 トレーニング実施率グラフ CSV フォーマット

分野	実施率(%)

図 12 をもとに、トレーニング実施率 CSV について説明する。

図 12 トレーニング実施率 CSV

	A	B
1	分野	実施率(%)
2	全分野	8.3333333
3	ストラテジ系	25
4	マネジメント系	25
5	テクノロジ系	25
6	不得意問題	11.111111
7	無制限	5.5555556

表示する情報は、以下の通りである。

A列) 分野

B列) 実施率(%)

それぞれの項目を説明する。

A 列) 分野は、選択した試験コースに準じたトレーニング分野を表示する。
この項目は、トレーニング実施率グラフのラベルとして使用される。

B 列) 実施率(%)は、トレーニング分野ごとの実施率を表示する。
この項目は、トレーニング実施率グラフのデータとして使用される。

時系列順トレーニング正答率グラフ

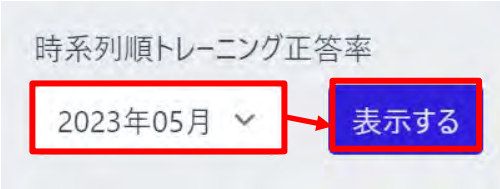
時系列順トレーニング正答率グラフは、ダッシュボード画面から時系列順トレーニング正答率の「表示する」ボタンを押下することでアクセスできる。

「表示する」ボタンを押下した場合、検索条件から該当したデータを基にグラフが表示される。

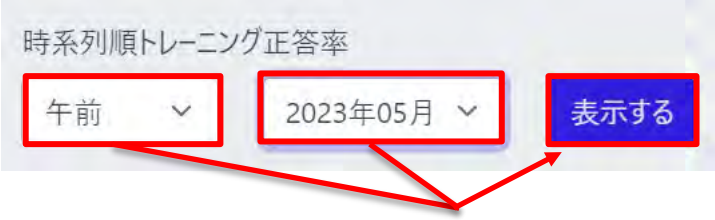

時系列順トレーニング正答率
2023年05月
表示する
ストラテジ系
マネジメント系
テクノロジ系
正答率(%)
CSV出力

グラフの検索については、選択した試験コースが IT パスポート試験以外であれば、分野を選択し、表示対象月を入力してから「表示する」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。

IT パスポート試験



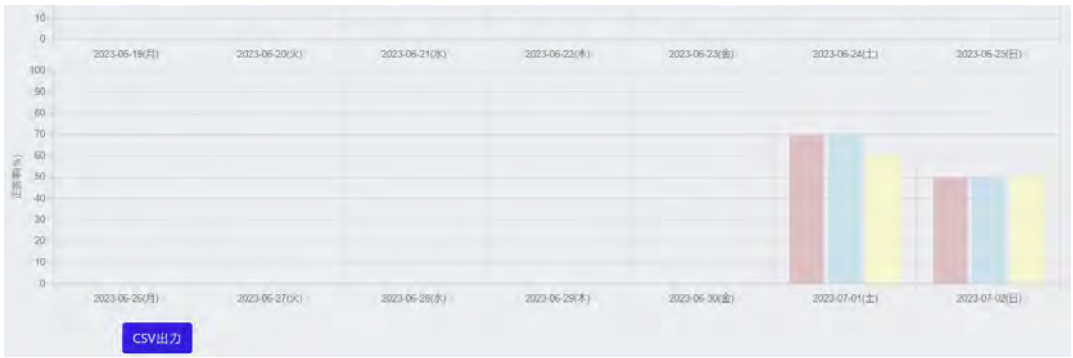
IT パスポート試験以外



検索を実行した場合、時系列順トレーニング正答率グラフに、検索条件に該当したデータが表示される。

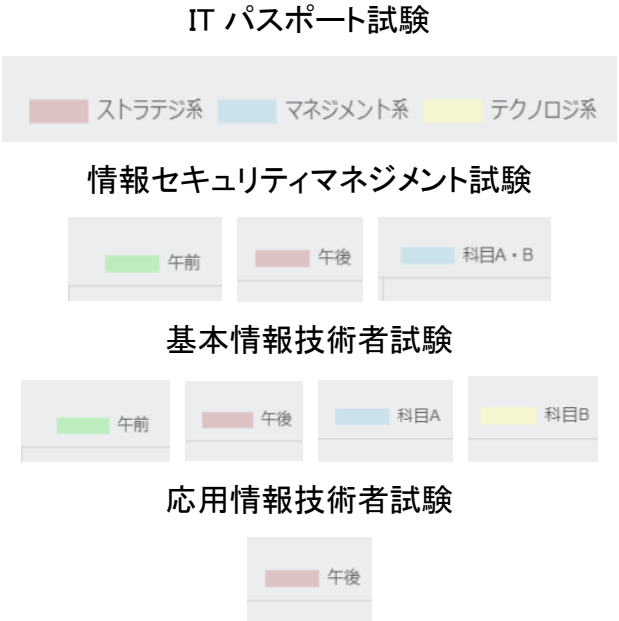


（中略）



時系列順トレーニング正答率グラフの凡例は、図 13 の通りである。

図 13 時系列順トレーニング正答率グラフ凡例



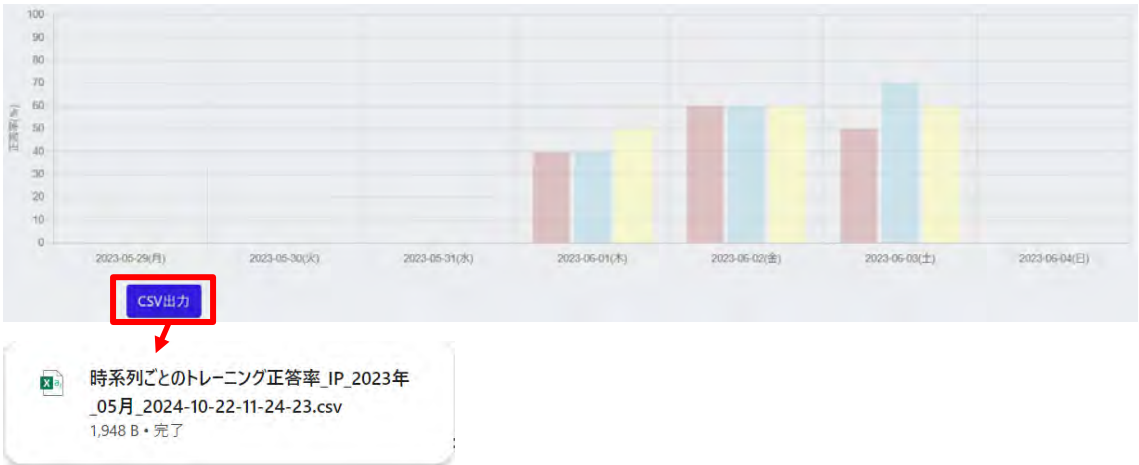
表示する情報は、以下の通りである。

1） 分野

それぞれの項目を説明する。

1）分野は、選択した各試験コースに準じた分野を表示している。

CSV ボタンを押下すると、選択したグラフで使用されるデータの一覧を CSV ファイルとしてダウンロードできる。



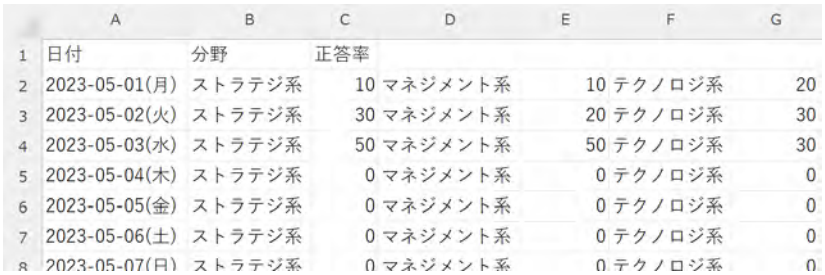
時系列順トレーニング正答率グラフ CSV のフォーマットは、表 10 の通りである。

表 10 時系列順トレーニング正答率グラフ CSV フォーマット

日付	分野	正答率(%)

図 14 をもとに、時系列順トレーニング正答率グラフ CSV について説明する。

図 14 時系列順トレーニング正答率グラフ CSV



	A	B	C	D	E	F	G
1	日付	分野	正答率				
2	2023-05-01(月)	ストラテジ系	10	マネジメント系	10	テクノロジ系	20
3	2023-05-02(火)	ストラテジ系	30	マネジメント系	20	テクノロジ系	30
4	2023-05-03(水)	ストラテジ系	50	マネジメント系	50	テクノロジ系	30
5	2023-05-04(木)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
6	2023-05-05(金)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
7	2023-05-06(土)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
8	2023-05-07(日)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0

（省略）

24	2023-05-23(火)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
25	2023-05-24(水)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
26	2023-05-25(木)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
27	2023-05-26(金)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
28	2023-05-27(土)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
29	2023-05-28(日)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
30	2023-05-29(月)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
31	2023-05-30(火)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0
32	2023-05-31(水)	ストラテジ系	0	マネジメント系	0	テクノロジ系	0

表示する情報は、以下の通りである。

A列）日付

B列）分野

C列）正答率

それぞれの項目を説明する。

A 列）日付は、検索条件で指定したひと月の年月日とその曜日を表示する。
この項目は、時系列順トレーニング正答率グラフの X 軸に使用される。

B 列）分野は、選択した各試験コースに準じた分野を表示する。

C 列）正答率は、1 日ごとに生徒の実施したトレーニングの平均正答率を表示する。
この項目は、時系列順トレーニング正答率グラフの Y 軸に使用される。

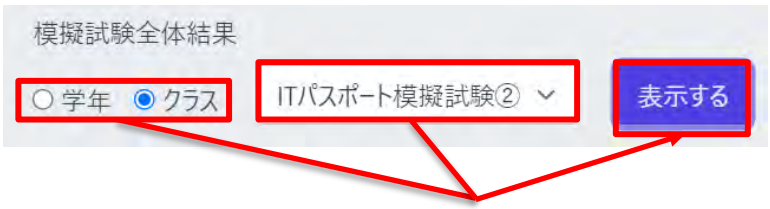
模擬試験全体結果グラフ

模擬試験全体結果グラフは、ダッシュボード画面からアクセスできる。

「表示する」ボタンを押下した場合、検索条件から該当したデータを基にグラフが表示される。



グラフの検索については、「範囲区分」ラジオボタンを選択し、表示する模擬試験、または全体を入力してから「表示する」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。



検索を実行した場合、模擬試験全体結果グラフに、検索条件に該当したデータが表示される。



模擬試験全体結果グラフの凡例は、図 15 の通りである。

図 15 模擬試験全体結果グラフ凡例



表示する情報は、以下の通りである。

1) 目標正答率
2) 全体受験者数
3) あなたの成績位置

それぞれの項目を説明する。

1) 目標正答率は、試験の合格に必要とされる正答率 60%を目標値として表示している。

2) 全体受験者数は、学年、またはクラスに所属する生徒ひとり一人の正答率を該当区分に振り分け、その人数を表示している。

2) あなたの成績位置は、ログインしている生徒が該当している区分を、全体受験者数とは異なる配色で表示している。

CSV ボタンを押下すると、選択したグラフで使用されるデータの一覧を CSV ファイルとしてダウンロードできる。



模擬試験全体結果グラフ CSV のフォーマットは、表　11 の通りである。

表　11　模擬試験全体結果グラフ CSV フォーマット

正答率区分	受験者数

図　16 をもとに、模擬試験全体結果グラフ CSV について説明する。

図　16　模擬試験全体結果グラフ CSV

	A	B
1	正答率区分	受験者数
2	81～100	2
3	61～80	14
4	41～60	5
5	21～40	13
6	0～20	6

表示する情報は、以下の通りである。

A列）正答率区分

B列）受験者数

それぞれの項目を説明する。

A 列）正答率区分は、正答率を 0～100 までの間で 20%ごとの区分として表示する。この項目は、模擬試験全体結果グラフの Y 軸に使用される。

B 列）受験者数は、各正答率区分に振り分けられた模擬試験の受験者の合計人数を表示する。

5.3.　成績情報個別画面

生徒の場合、成績情報個別画面は、サイドメニューの「成績情報」を押下することでアクセスできる。

教員の場合、成績情報個別画面は、成績情報全体画面の個別ボタンを押下することでアクセスできる。

※以下の画像は生徒の場合



当画面は、1 名の生徒が過去に実施したトレーニングと模擬試験の成績一覧を表示することができる。

また、当画面から、以下に示す各画面にアクセスできる。

- 成績情報詳細画面
- 問題出題(全分野)画面※注1
- 問題出題(ストラテジ系)画面※注1
- 問題出題(マネジメント系)画面※注1
- 問題出題(テクノロジ系)画面※注1
- 問題出題(不得意問題)画面※注1
- 問題出題(無制限)画面※注1
- 問題出題(CBT 方式)画面※注 1、注 2

  ※注1：アクセスできるのは生徒のみである。

  ※注 2：IT パスポート試験以外の試験コースでのみである。

成績一覧の表示は実施区分ラジオボタンの「両方」、「トレーニングモード」、「模擬試験」のいずれかを選択することにより変わる。
「両方」:トレーニングと模擬試験の成績を表示する。
「トレーニング」:トレーニングのみの成績を表示する。
「模擬試験」:模擬試験のみの成績を表示する。
※以下はユーザーロールが生徒で「両方」を選択している場合

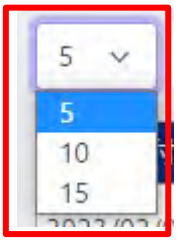


教員の場合は、「試験種別」が表示され、「実施区分」ラジオボタンが非表示になり、成績情報全体画面にて選択したラジオボタンの情報が引き継がれて表示される。



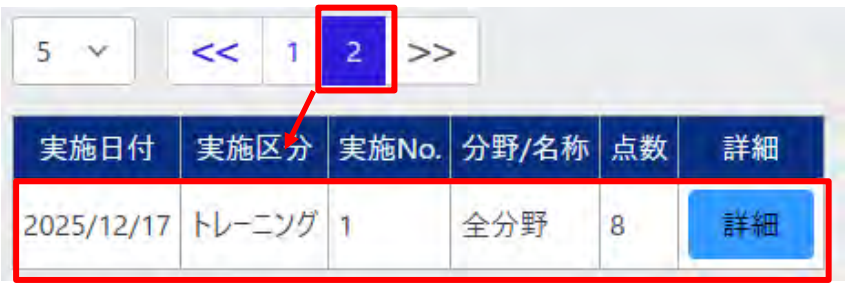
過去に実施したトレーニングの一覧から、「詳細」ボタンを押下することで、成績情報詳細画面に遷移することができる。





一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの一覧が表示される。

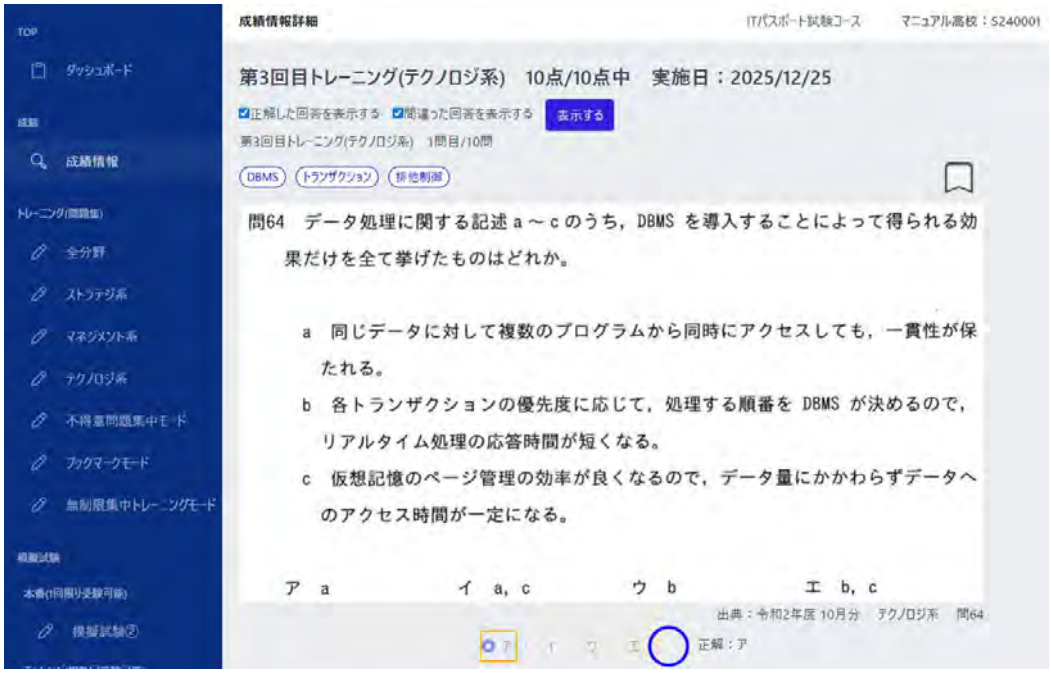




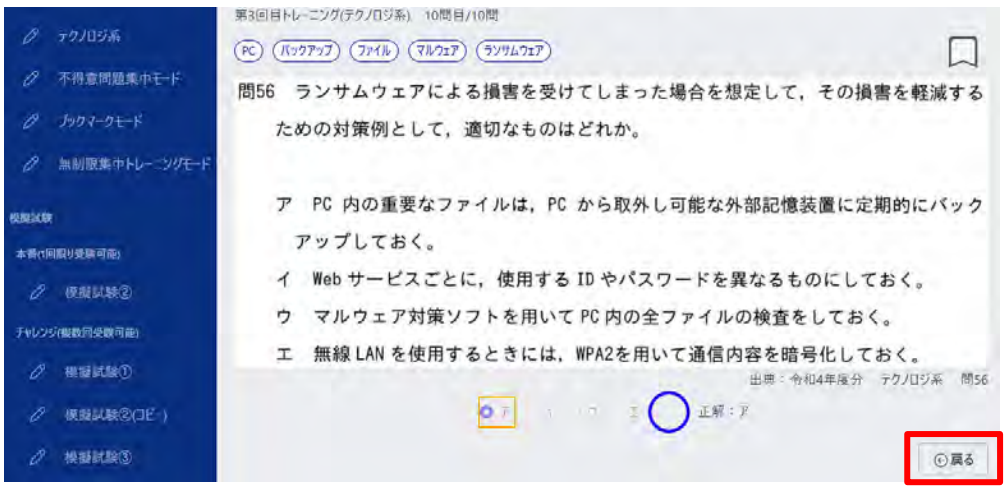
各開始ボタンを押下することで、それぞれの問題出題画面にアクセスできる。
また、このボタンは、生徒の場合のみ、表示される。

5.4.　成績情報詳細画面

成績情報詳細画面は、成績情報個別画面、もしくは、問題出題画面、模擬試験問題出題画面の「終了」ボタンからアクセスできる。



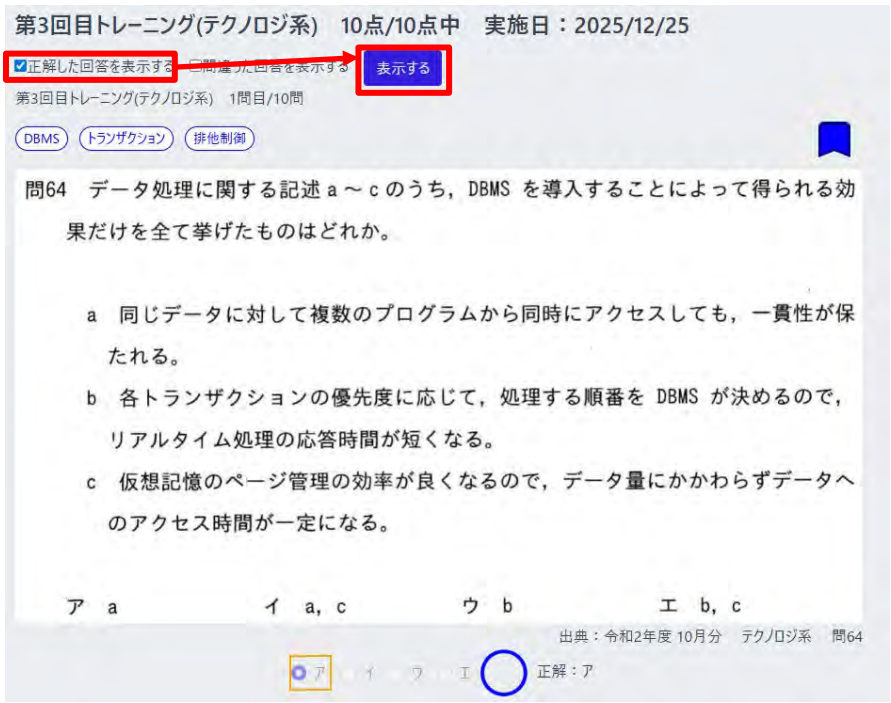
（中略）



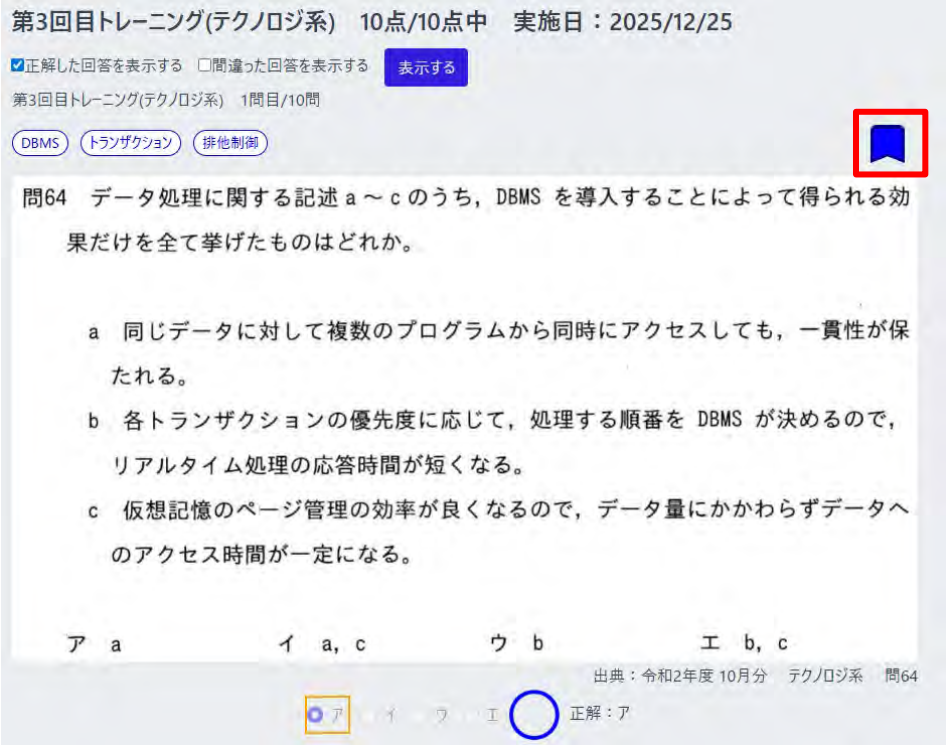
当画面は、生徒が選択した解答、正解の選択肢、採点結果を表示することができる。
トレーニングの場合は、1 回のトレーニングで出題された 10 問の問題文を表示する。
模擬試験の場合は、1 回の模擬試験で出題された全ての問題文を表示する。
戻るボタンを押下することで、成績情報個別画面にアクセスできる。

正解・不正解のフィルタリングについてはチェックボックスの「正解した回答を表示する」「間違った回答を表示する」もしくは両方のチェックボックスを選択し「表示する」ボタンを押下することで、その機能を使用することができる。

※以下は正解のみの回答を表示している。



ブックマーク機能



成績情報詳細画面では、問題に対してブックマークする機能がある。問題の右上にある下記アイコンをクリックすると、ブックマークの ON/OFF が切り替わり即時に記録される。


ブックマークが ON の状態

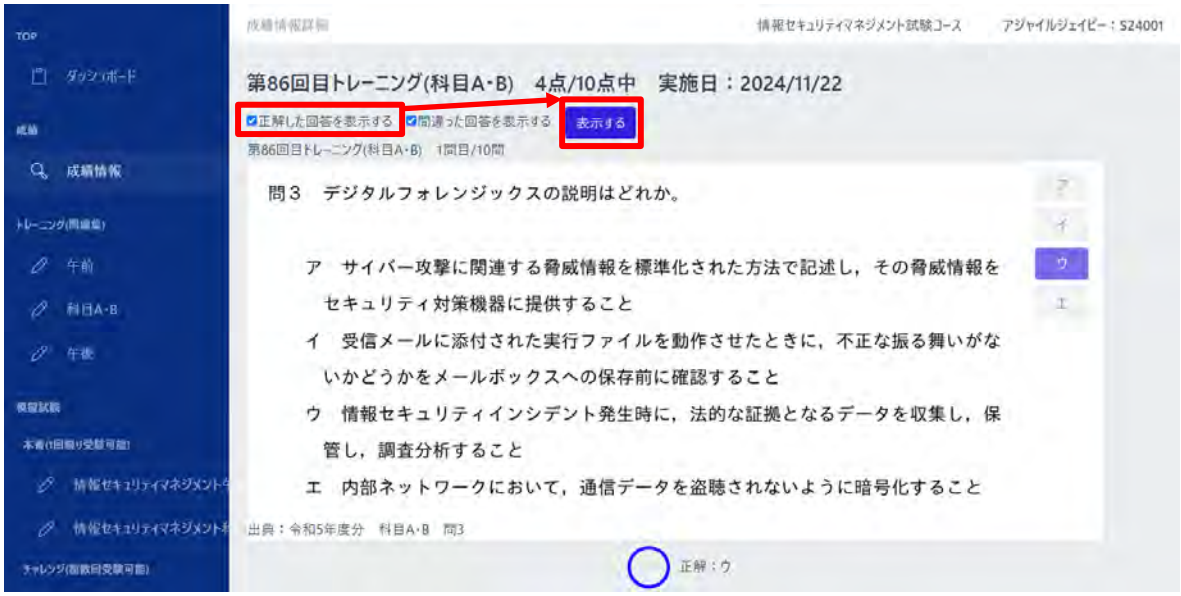

ブックマークが OFF の状態

ブックマークした問題は下記機能で利用できる。

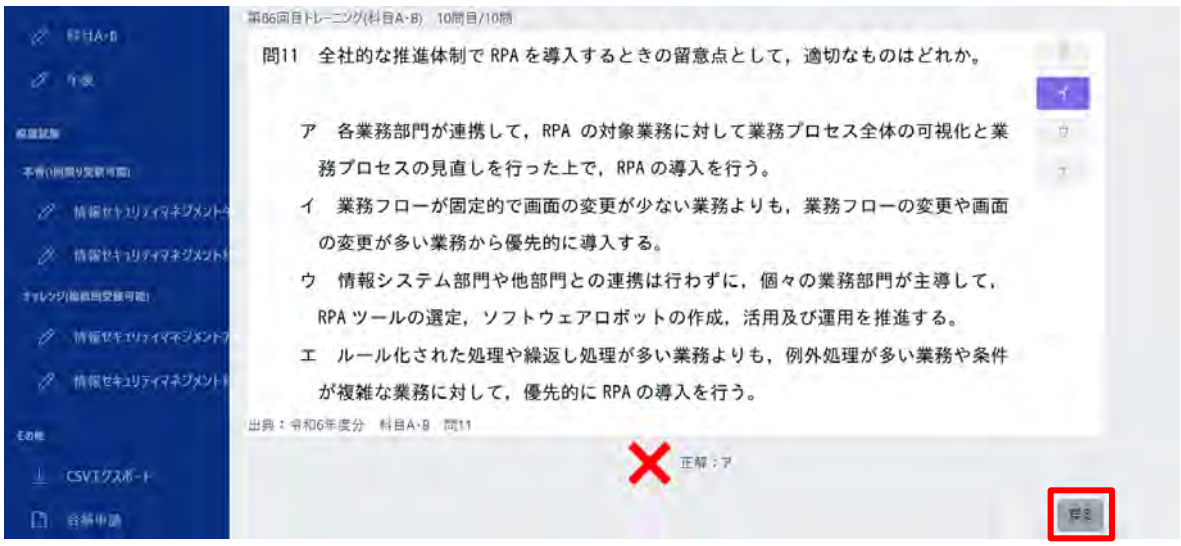
- ブックマーク閲覧画面
- 問題出題(ブックマークモード)開始画面

成績情報詳細画面(CBT 方式)

成績情報詳細画面(CBT 方式)は、成績情報個別画面、もしくは、問題出題(CBT 方式)画面、模擬試験問題出題(CBT 方式)画面の「終了」ボタンからアクセスできる。



(中略)



当画面は、生徒が選択した解答、正解の選択肢、採点結果を表示することができる。
トレーニングの場合は、1 回のトレーニングで出題された 10 問の問題文を表示する。
模擬試験の場合は、1 回の模擬試験で出題された全ての問題文を表示する。

正解・不正解のフィルタリングや、「戻る」ボタンを押下時の挙動は成績情報詳細画面と共通の為、説明は省略する。

5.5.　問題出題(全分野)開始画面

問題出題(全分野)開始画面は、サイドメニューの「全分野」を押下することでアクセスできる。



「トレーニング(全分野)　開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(全分野画面)にアクセスできる。

問題出題(全分野)画面

当画面は、問題出題(全分野)開始画面から、「トレーニング(全分野)　開始」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、選択された分野の問題を、IT パスポート試験の過去問題からランダムに 10 問出題する画面である。

出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1 つ前の問題出題画面にアクセスできる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



5.6. 問題出題(ストラテジ系)開始画面

問題出題(ストラテジ系)開始画面は、サイドメニューの「ストラテジ系」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(ストラテジ系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

5.7. 問題出題(マネジメント系)開始画面

問題出題(マネジメント系)開始画面は、サイドメニューの「マネジメント系」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(マネジメント系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

5.8. 問題出題(テクノロジ系)開始画面

問題出題(テクノロジ系)開始画面は、サイドメニューの「テクノロジ系」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(テクノロジ系)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

5.9. 問題出題(不得意問題集中モード)開始画面

問題出題(不得意問題集中モード)開始画面は、サイドメニューの「不得意問題集中モード」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(不得意問題集中モード)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

5.10. 問題出題(ブックマークモード)開始画面

問題出題(ブックマークモード)開始画面は、サイドメニューの「ブックマークモード」を押下することでアクセスできる。



以降の画面操作は、問題出題画面(全分野)と共通の為、説明は省略する。

問題出題(ブックマークモード)画面

以降の画面操作は、問題出題(全分野)画面と共通の為、説明は省略する。

5.11. 問題出題(無制限集中トレーニングモード)開始画面

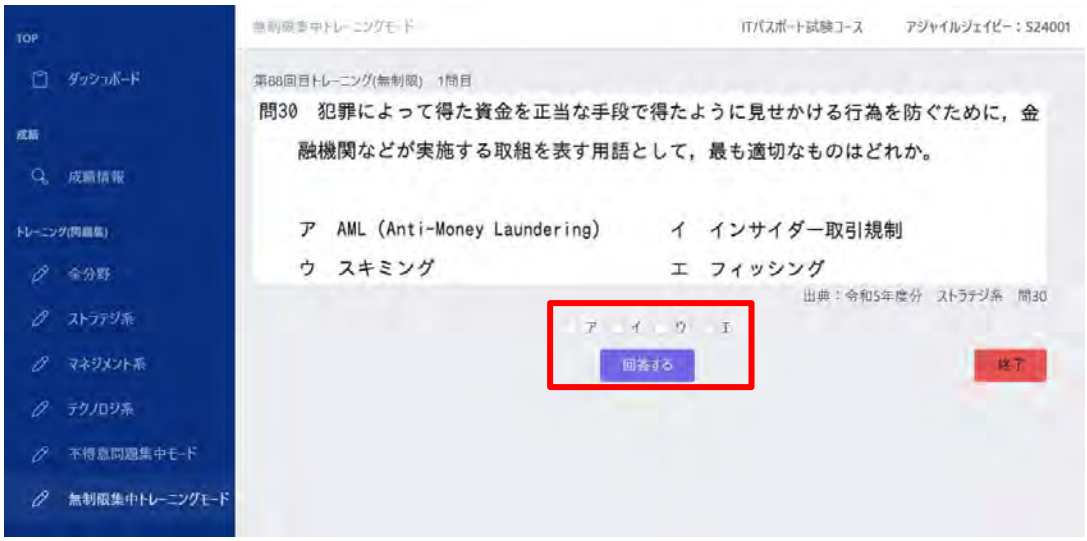
問題出題(無制限集中トレーニングモード)開始画面は、サイドメニューの「無制限集中トレーニングモード」を押下することでアクセスできる。



「無制限集中トレーニングモード開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(無制限集中トレーニングモード)画面にアクセスできる。

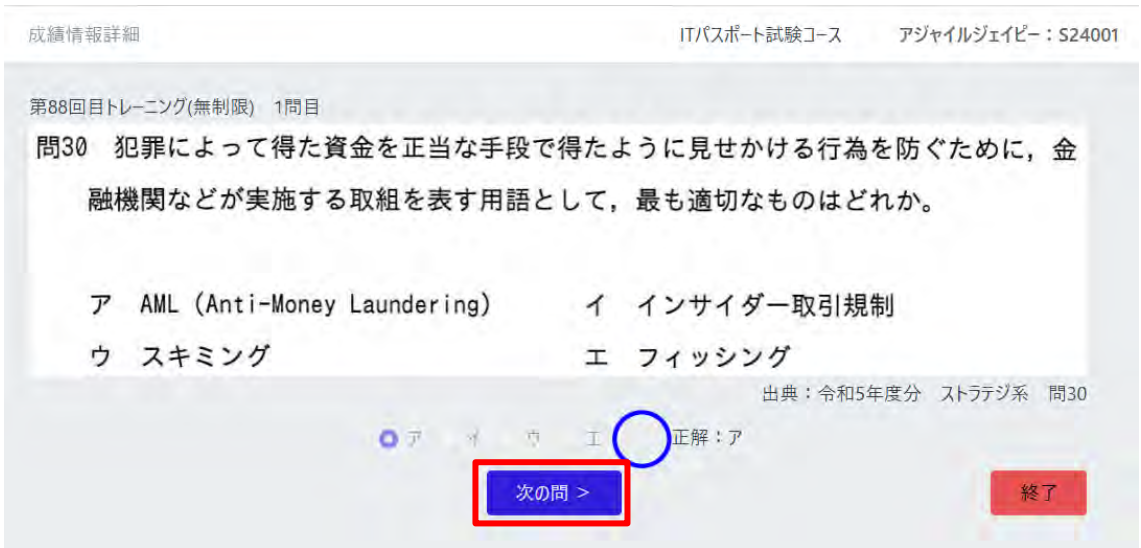
問題出題(無制限集中トレーニングモード)画面

当画面は、無制限集中トレーニングモード開始画面から、「無制限集中トレーニングモード　開始」ボタンを押下することでアクセスできる。



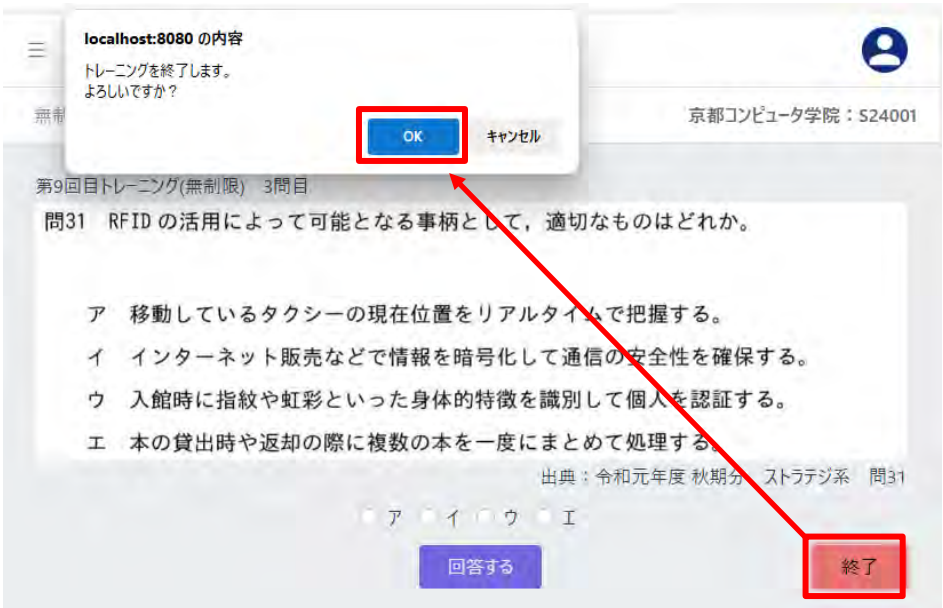
当画面は、選択された分野の問題を、IT パスポート試験の過去問題からランダムに出題する画面である。出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「回答する」ボタンを押下することで、解答画面を表示する。

※解答が未選択の場合は解答画面にアクセスはできない。



「次の問」ボタンを押下するか、5秒程度放置すると次の出題画面が表示され、終了するまで最大 100 問継続することができる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



5.12. 問題出題(CBT 方式)開始画面

問題出題(CBT 方式)画面は、サイドメニューの以下に該当する項目を押下することでアクセスできる。

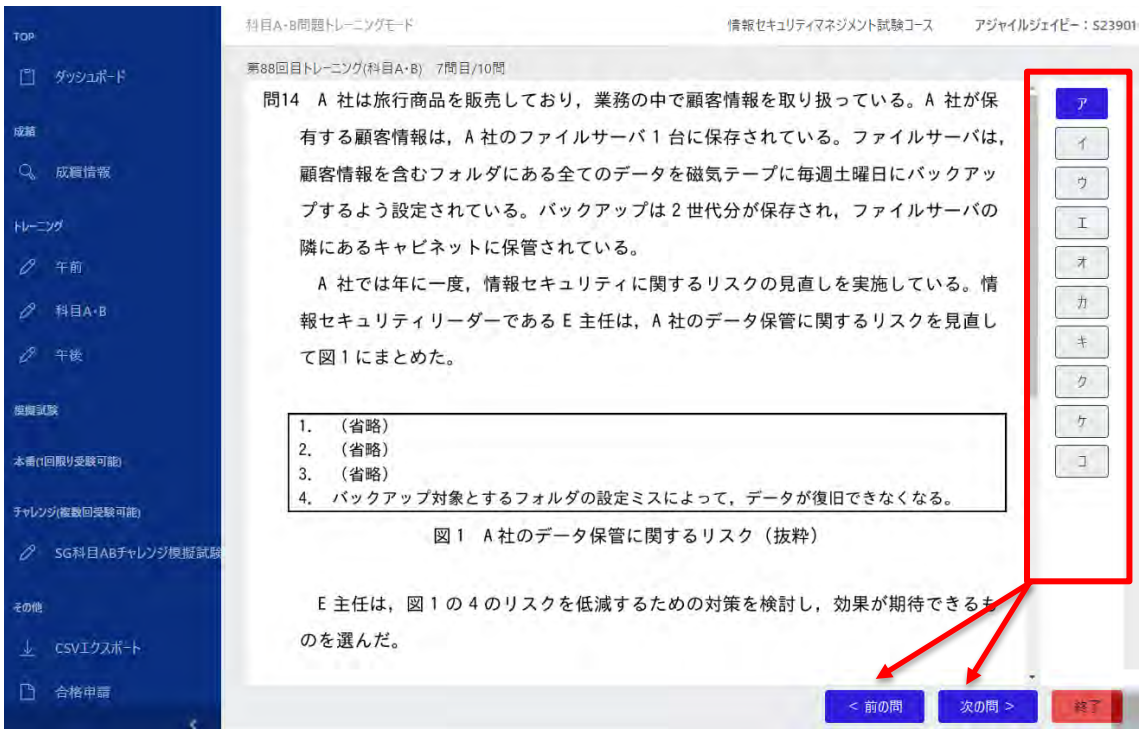
情報セキュリティマネジメント試験　　:科目 A・B
基本情報技術者試験　　:科目 A、科目 B、科目 A 免除



「トレーニング開始」ボタンを押下することで、以降の問題出題(CBT 方式)画面にアクセスできる。

問題出題(CBT 方式)画面

当画面は、CBT 方式のトレーニング開始画面から、「トレーニング開始」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、選択された分野の問題を試験コースに応じた過去問題からランダムに10問出題する画面である。

出題された問題の解答を画面右側の解答ボタンの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1 つ前の問題出題画面にアクセスできる。

解答ボタンは問題によって増減し、押下済みのボタンを再度押下することで未回答の状態に戻すことができる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

トレーニングの終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部にトレーニング終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。終了後は成績情報詳細画面(CBT 方式)にアクセスする。



5.13. 模擬試験開始画面

模擬試験開始画面は、サイドメニューの受験可能な模擬試験を押下することでアクセスできる。
サイドメニューには本番モードのものとチャレンジモードのものと分けて表示される。

受験可能な模擬試験がない場合は、サイドメニューに「現在、公開中の試験問題はありません。」と表示される。



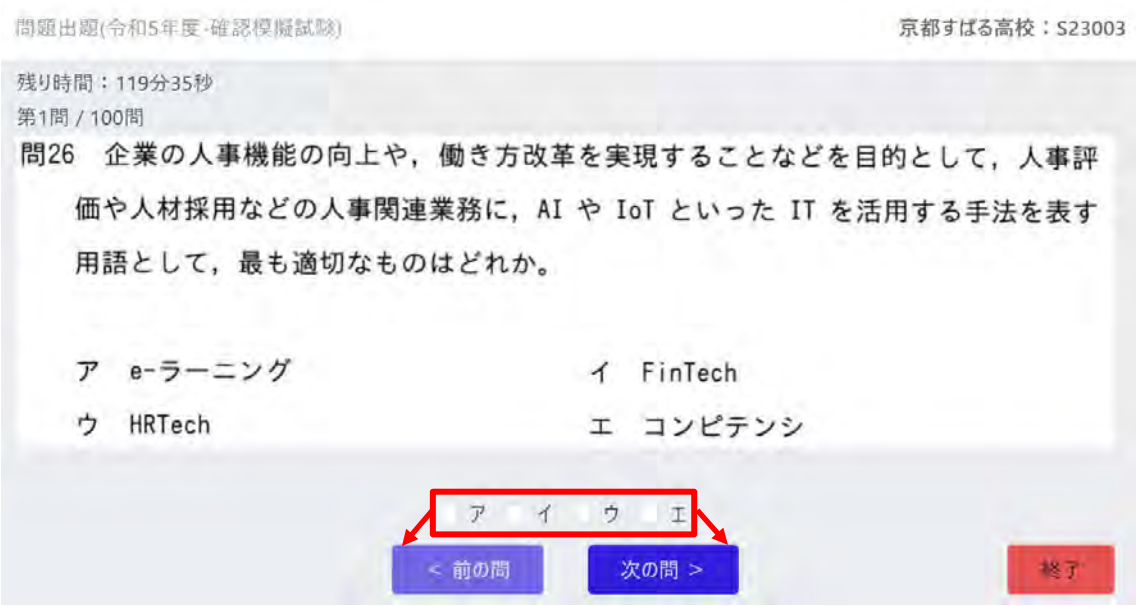
生徒が模擬試験に向けて練習する場合はチャレンジモードの模擬試験を選ぶ。チャレンジモードの場合は残り受験可能な回数が表示される。



「試験開始（再開）」ボタンを押下することで、以降の模擬試験問題出題画面にアクセスできる。ブラウザが突然終了した等のトラブルに備え、模擬試験を終了するか、制限時間を超えない限りここから模擬試験を再開できる。

模擬試験問題出題画面

模擬試験問題出題画面は、模擬試験開始画面から「試験開始（再開）」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、選択された模擬試験の問題を出題する画面である。

出題された問題の解答をア、イ、ウ、エの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。

また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1 つ前の問題出題画面にアクセスできる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

模擬試験の終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部に模擬試験終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。
終了後は成績情報詳細画面にアクセスする。



5.14. 模擬試験(CBT 方式)開始画面

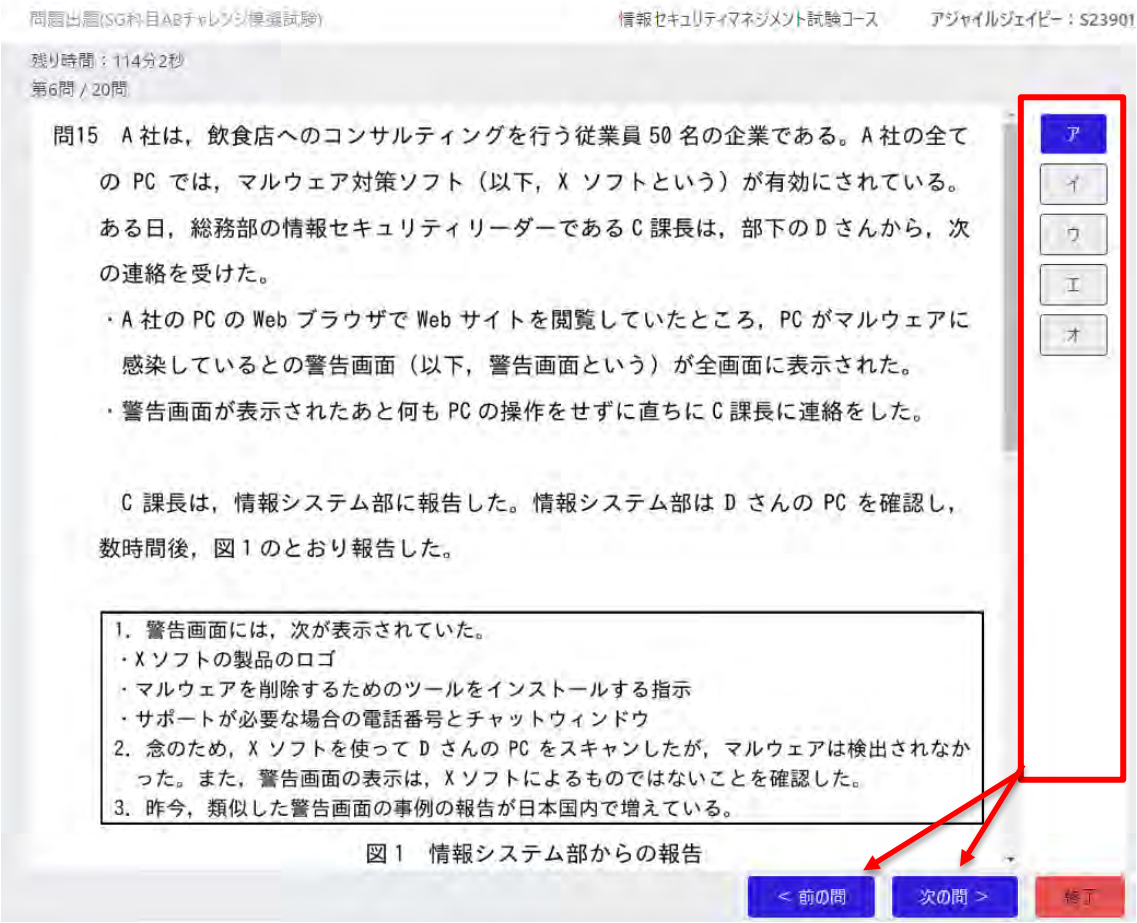
模擬試験(CBT 方式)開始画面は、サイドメニューの受験可能な CBT 方式に対応した分野の模擬試験を押下することでアクセスできる。
サイドメニューには本番モードのものとチャレンジモードのものと分けて表示される。
生徒が模擬試験に向けて練習する場合はチャレンジモードの模擬試験を選ぶ。チャレンジモードの場合は残り受験可能な回数が表示される。



「試験開始（再開）」ボタンを押下することで、以降の模擬試験(CBT 方式)問題出題画面にアクセスできる。ブラウザが突然終了した等のトラブルに備え、模擬試験を終了するか、制限時間を超えない限りここから模擬試験を再開できる。

模擬試験(CBT 方式)問題出題画面

模擬試験(CBT 方式)問題出題画面は、模擬試験(CBT 方式)開始画面から「試験開始（再開）」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、選択された CBT 方式の模擬試験の問題を出題する画面である。

出題された問題の解答を画面右側の解答ボタンの中から選択し、「次の問」ボタンを押下することで、次の問題出題画面にアクセスできる。

また、同様に「前の問」ボタンを押下することで、1 つ前の問題出題画面にアクセスできる。

解答ボタンは問題によって増減し、押下済みのボタンを再度押下することで未回答の状態に戻すことができる。

※解答が未選択の場合でも、次または前の問題出題画面にアクセスできる。

模擬試験の終了については、「終了」ボタンを押下することで、画面上部に模擬試験終了確認アラートが表示され、「OK」ボタンを押下することで終了することができる。
終了後は成績情報詳細画面(CBT 方式)にアクセスする。

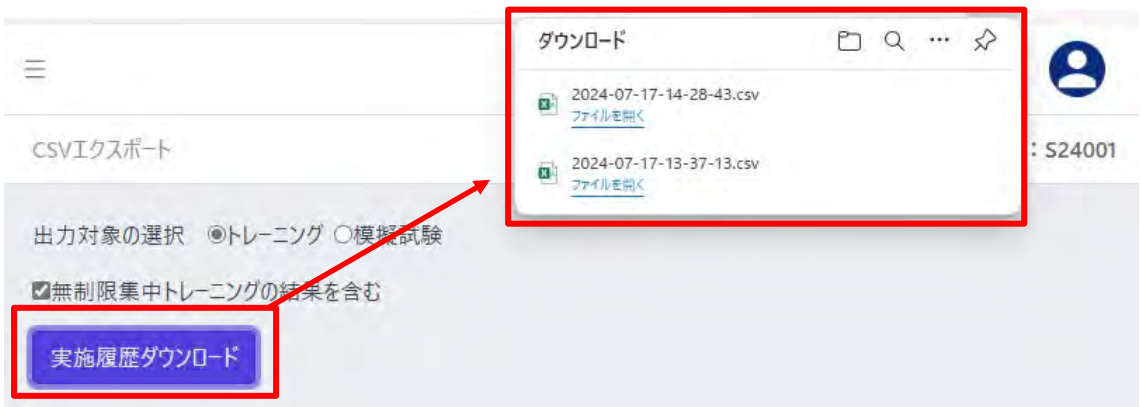


5.15. CSV エクスポート画面

CSV エクスポート画面は、サイドメニューの「CSV エクスポート」を押下することでアクセスできる。



当画面は、トレーニングと模擬試験の成績の詳細を含む実施履歴を CSV ファイルでエクスポートできる。



エクスポートしたい種類（トレーニングか模擬試験）を選択し、「実施履歴ダウンロード」ボタンを押下することで、成績情報の CSV ファイルがエクスポートされる。

注：無制限集中トレーニングの結果を含めるかどうかについて

無制限集中トレーニングはその他のトレーニングとは違い、総問題数がバラバラで非常に多くなるためエクスポート対象から除外する事ができる。

5.16. 合格申請画面

合格申請画面は、サイドメニューの「合格申請」を押下することでアクセスできる。



当画面は、対象となる試験に合格した日付を入力し、「申請ボタン」を押下することで、合格申請を教員に申請することができる。

「申請ボタン」を押下すると、以降の合格申請ダイアログにアクセスできる。

合格申請については、以下の「合格日」を入力し、「申請ボタン」を押下することで、その機能を使用することができる。



申請を実行した場合、当画面には申請中であることを示す画面が表示される。

合格日入力欄が非活性となり、「申請ボタン」が「申請中ボタン」に変わる画面へ遷移する。



「申請中ボタン」を押下すると、以降の合格申請取り消しダイアログにアクセスできる。

教員の合格申請受理画面で合格申請が受理されると、合格申請画面には申請が受理されたことを示す画面が表示される。



また、申請受理後は試験選択画面の該当試験の左上に「合格」したことを示すアイコンが表示される。



合格申請ダイアログ

合格申請ダイアログは、合格申請画面の申請ボタンを押下することで、アクセスできる。



ダイアログから合格申請画面で入力した合格日とユーザーID を確認し、確定ボタンを押下することで対象試験に合格したことを申請できる。

合格申請取り消しダイアログ

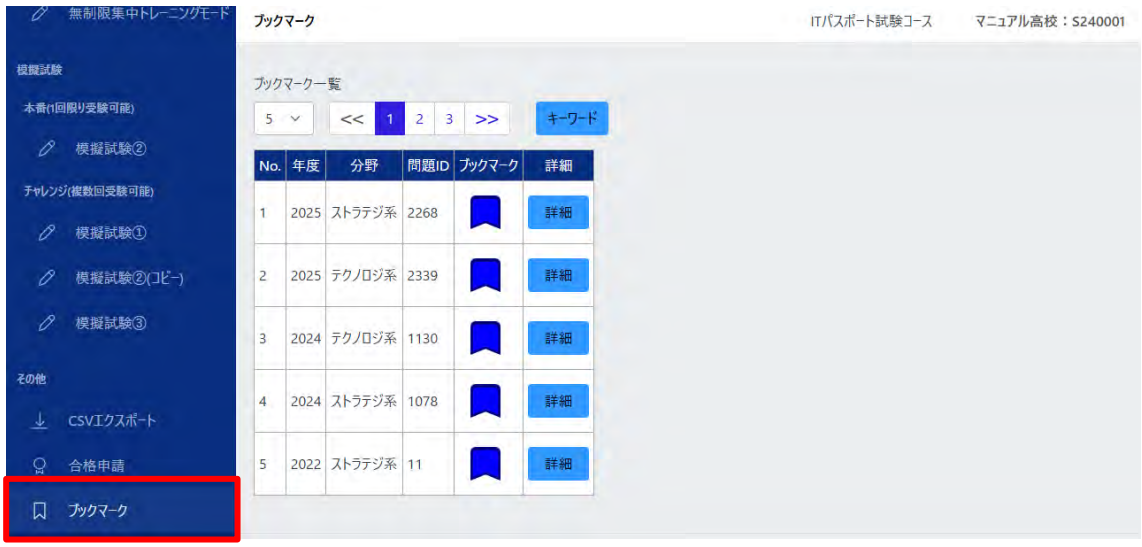
合格申請取り消しダイアログは、合格申請画面の申請中ボタンを押下することで、アクセスできる。



ダイアログから合格申請画面で申請した合格日とユーザーID を確認することができ、申請取り消しボタンを押下することで合格申請を取り消すことができる。

5.17. ブックマーク画面

ブックマーク画面は、サイドメニューの「ブックマーク」を押下することでアクセスできる。



ブックマークの一覧から、「詳細」ボタンを押下することで、問題確認ダイアログが開き問題を確認できる。

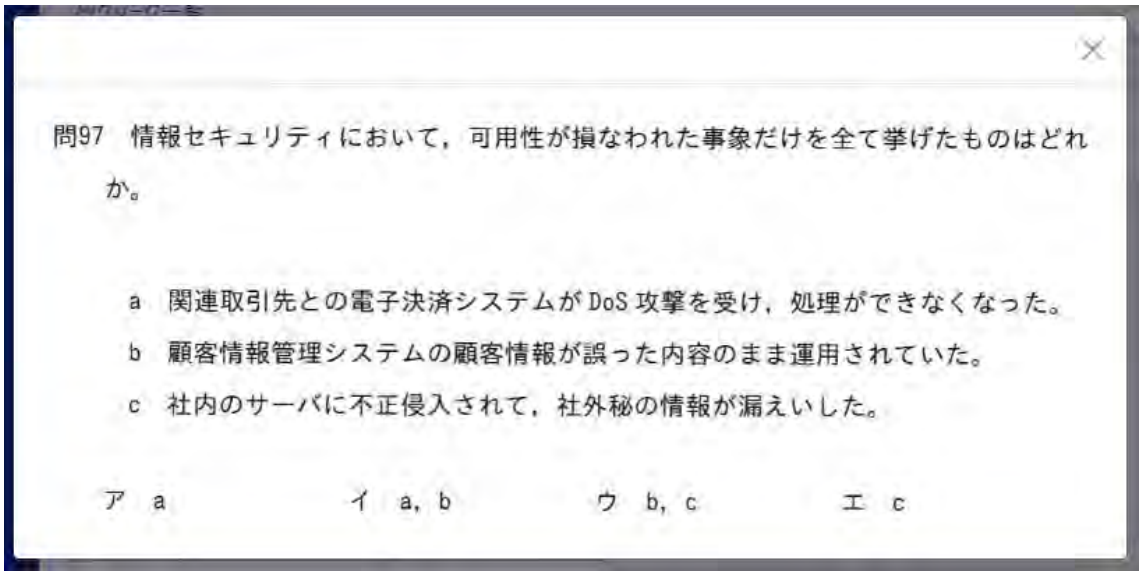


一覧は、ページ単位で表示され、1 ページ当たりの行数は、ページャー横のドロップダウンで変更することができる。

ページボタンを押下すると、選択したページの一覧が表示される。



ブックマーク問題表示ダイアログ



6. 使用方法(ゲスト)

6.1. 初期設定ログイン画面

初期設定機能を使用するには、初期設定ログイン画面からゲストのユーザーID、パスワードを入力し、ログインボタンを押下することで、初期設定画面へのアクセスが可能となる。

また、当画面は生徒/教員/管理者がアクセスできるログイン画面と異なり、ゲストユーザーのみがアクセスできる画面である。



6.2. 初期設定画面(学校情報)

初期設定画面(学校情報)は、初期設定ログイン画面からログインすることでアクセスできる



当画面は、最初に学校情報の登録を行った後、ログインに必要な生徒/教員/管理者のユーザーアカウントと生徒/教員のダッシュボードの表示に必要となる成績データを登録する。

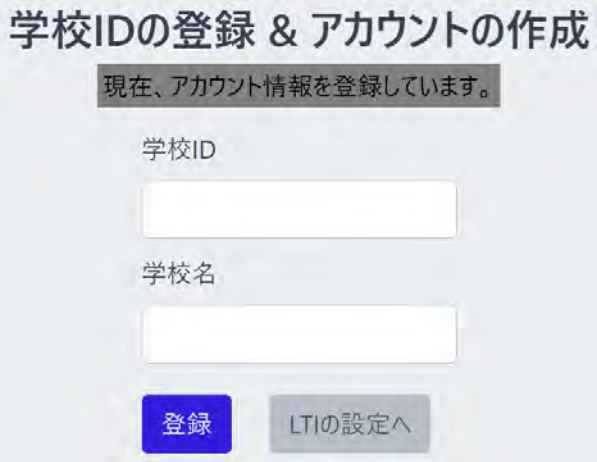
また、当画面から以下に示す画面にアクセスできる。

- 初期設定情報(LTI 情報)

学校情報の登録について、学校 ID と学校名を入力し、登録ボタンを押下することで、学校情報を登録できる。



学校情報の登録が完了した後、自動的にログインに必要なユーザーアカウントとアカウントに紐づく成績データの登録を開始する。



学校情報に紐づくユーザーアカウントの登録が完了した後、初期設定画面(LTI 情報)に遷移できるボタンの押下が可能になる。



6.3. 初期設定画面(LTI 情報)

初期設定画面(LTI 情報)は、初期設定画面(学校情報)の「LTI の設定へ」ボタンを押下することでアクセスできる。



当画面は、ログイン画面に遷移できる URL と初期設定画面(学校情報)で登録されたアカウント情報が含まれる CSV ファイルを取得できる。
また、LTI の接続に必要となるプライベートキーファイルを登録する。

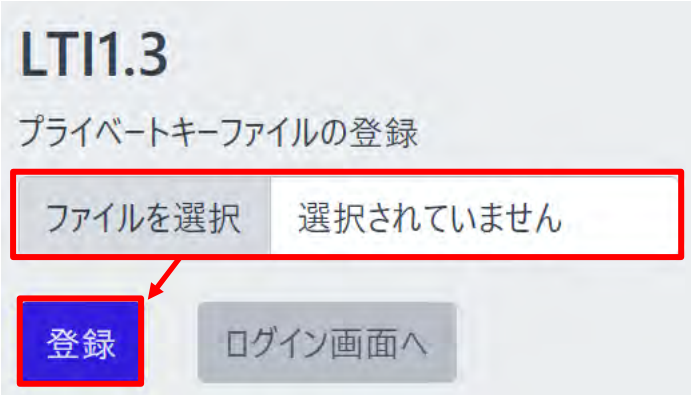
当画面から、以下に示す画面にアクセスできる。

- ログイン画面

「CSV 出力」ボタンを押下すると、初期設定画面(学校情報)で登録した学校 ID が追加されたログイン画面への URL と、生徒/教員/管理者でログインするためのユーザーアカウントの ID・パスワードが含まれた CSV ファイルをダウンロードできる。



「ファイルを選択」を押下すると、ファイル選択ダイアログが表示され、pem 形式のプライベートキーファイルを選択できる。
選択した状態で「登録」ボタンを押下すると、プライベートキーファイルを登録できる。



プライベートキーファイルの登録が完了した後、ログイン画面に遷移できるボタンの押下が可能になる。



7. 使用上の注意

7.1. 複数タブ表示

本アプリは、複数のタブを開いた場合、最新のタブ以外は、下記(赤枠)のメッセージを表示し、操作を禁止している。

一度、このダイアログが表示されたタブは、以降の操作が不可能となる。

